

令和3年度 社会福祉法人東大阪市社会福祉協議会 事業報告

今年度は昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため緊急事態宣言や蔓延防止措置が発せられ、外出自粛要請、学校等の休校、経済活動を含めたさまざまな社会活動が停止せざるを得ない厳しい状況が続いた。そうした状況下、本協議会では感染リスクを回避しながら地域福祉活動を展開していくために、リモートでの会議や研修、書面での会議を導入し、地域福祉活動の推進を図った。

具体的には、パソコンやスマートフォンなどを活用し、コロナ禍でも高齢者が介護予防に取り組めるよう、オンラインによる介護予防教室を実施した。また、ボランティア活動に興味ある方を対象とした入門的な講座も同様にオンライン開催し、好評を博した。

近年、自然災害による甚大な被害が各地で多発する中で、災害ボランティア活動等に向けた支援が迅速かつ効果的に行われるように支援体制のネットワーク構築を図るため、ライオンズクラブ国際協会及び大阪いずみ市民生活協同組合の2団体と新たに大規模災害発生時等における相互協力に関する協定を締結した。

また、老人センターや玉串こども園では、新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら行事や事業を実施した。以下、令和3年度の事業計画に掲げた重点事項の進捗状況について報告する。

1. 社協地域担当職員（COW）を中心とした地域福祉ネットワークの推進

前年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響のため地域活動の自粛や延期、または形をかえての開催を余儀なくされた。こうした中、概ね各リージョン区に配置された社協地域担当職員（COW）は、地域課題の解決のため、校区福祉委員会を中心とした地域福祉を推進する各種団体の活動に対し支援を行った。

また分野を超えた専門機関が集い、制度の狭間の課題について連携支援を目指す「地域福祉ネットワーク推進会議」では、コロナ禍の中、オンライン形式で行うなどの工夫をして開催した。さらに東大阪市が取り組む災害時における避難行動要支援者の個別避難計画作成事業においては地域福祉の橋渡し役として参画・協力した。

2. 老人センター事業及び高齢者地域支え合いセンター事業の推進

指定管理を受託している3カ所の老人センターでは、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を徹底し、事業内容や規模を見直しながら、利用者の安全を第一に考え、管理・運営してきた。「高齢者地域支え合いセンター事業」では、ワンコイン生活サポート事業において新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年度同様、利用会員や援助会員がサービスの利用や提供を控える傾向が見られた。SOSオレンジネットワーク事業・事業所ふくしネットワーク事業については、協力事業所も増加し、また地域住民へ認知症への理解を促す認知症サポーター養成講座は、緊急事態宣言が発出された年度当初は開催が見送られていたが、人数制限を設けるなど密を避ける工夫をして開催した。

3. 常設型災害ボランティアセンターの機能強化

常設型災害ボランティアセンターでは、災害支援ボランティアとして登録のボランティアに対し勉強会を実施し、コロナ禍における災害ボランティアセンターの設置・運営方法について知識を広めてもらった。また、昨年に引き続き地域のサロンに出向き、参加者にブルーシートでの寝袋の作り方やダンボールを使ったトイレの作り方等を体験してもらい、普段身近にある物でも災害時や緊急時に役立つことを知ってもらう機会を設けた。さらに、災害時に備え、食品を備蓄して普段の食事に製造日の古いものから消費し、消費した分の食品を買い足すことによって、常に一定量の備蓄状態を保持するためのローリングストックやポリ袋を利用し、素早く衛生的に調理ができる方法について周知を図った。また、地域で開催される防災訓練や花園中央公園での防災イベントに参加し、防災・減災の啓発活動に取り組んだ。

4. 福祉意識の向上とボランティアの育成

市民福祉講座では、「子どもの虐待はなぜ起こるのか？」をテーマに取り上げ、虐待する親の心理を理解することにより当事者の孤立を防ぐ方法や、地域で親子を見守る仕組みづくりの必要性について講座を開催し、受講者に子どもの虐待に関する理解を深めていただいた。

5. 個別支援による地域福祉力の向上

コミュニティソーシャルワーカー（CSW）配置事業では、CSW間のさらなる連携を図るため連携会を東・中地域と西地域の2カ所で開催する形式と全体で開催する形式でおこなった。社協地域担当職員（COW）と合同で開催している連絡会や研究会においては、引き続き情報共有や事例検討を行うことで連携強化を図り、対象者へは伴走型

の支援に取り組んだ。また、COWが開催している「地域福祉ネットワーク推進会議」に積極的に参画し、ネットワークづくりに努めた。

6. 地域包括ケアシステムの構築を見据えた基幹型地域包括支援センターの機能強化

今年度も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に配慮し、地域包括ケアシステムの構築実現に向け、地域福祉活動実践者や医療・介護・福祉などの専門機関と連携を図り、高齢者を支援する仕組みづくりに取り組んだ。また、各地域包括支援センターに配置された生活支援コーディネーターは、コロナ禍での地域の高齢者の生活にかかる課題を共有し、必要な支援につなぐための地域内のネットワーク体制づくりに取り組み、コーディネート役（とりまとめ役）となって地域ケア会議「高齢者生活支援等会議」を引き続き開催した。地域包括ケアシステムの中核機関である第1層生活支援コーディネーターは、第2層生活支援コーディネーターとの連携を強化した。地域包括支援センター業務としては、介護に取り組む家族等への対応・支援や市民サービス向上のための相談体制の機能強化を図り、今年度から地域で取り組む高齢者の健康づくりとして「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」をモデル事業に取り組んだ。

7. 権利擁護における支援体制の充実

日常生活自立支援事業は、新規契約を62件締結し、利用件数は366件となった。支援計画に基づき、サービス派遣は関係機関と連携を図り、利用者に応じた適切な支援を提供することができた。一方、死亡、施設入所、親族や選任された成年後見人等の管理などにより、サービスを終了するケースが48件あった。終了ケースについては、関係機関と連絡を密に取り、保管物品を引き渡すことができた。成年後見制度への移行については、利用者と丁寧に関わり、関係機関・市と連携を図ることにより、21ケース結びつけることができた。

市民後見推進事業では、市民後見人養成の広報活動を強化し、養成講座（Youtubeでの動画視聴によるオリエンテーション、基礎講習7名、実務講習6名）を経て、新たに6名がバンク登録予定者となった。本年度末のバンク登録者は30名で、新たに2件の受任が開始され、被後見人の死亡による終了が1件あり、年度末で6名の市民後見人が活動を行うこととなった。

成年後見制度では、今年度「東大阪市成年後見制度利用促進協議会」を東大阪市と協働で運営し、成年後見サポートセンターでは、適切な制度利用に向けた広報啓発活動や相談機能の整備に努め、様々な相談に対応できるよう体制整備に取り組んだ。

I. 法人運営

1. 組織の充実

(1) 三役会・理事会・評議員会の開催（※書面審議含）

①三役会の開催

開催日	会議名	案件
5/27	三役会	①第1回理事会について
6/23	三役会	①第1回評議員会について ②第2回理事会について ③令和4年度職員採用について ④令和3年度共同募金運動について
7/28	三役会	①東大阪市ダイヤモンド婚・金婚夫婦のつどいについて（令和2年度ご対象者） ②第3回理事会について ③第27回 東大阪市社会福祉大会準備委員会について ④職員採用試験委員会報告について ⑤令和3年度共同募金運動について
11/22	三役会	①第4回理事会並びに第2回評議員会について ②第27回 東大阪市社会福祉大会準備委員会について ③令和4年度職員採用について

開催日	会議名	案 件
3/18	三 役 会	①第5回理事会並びに第3回評議員会について ②第27回 東大阪市社会福祉大会について ③令和4年度 職員採用について

②理事会の開催

開催日	会議名	案 件
6/4	第1回理事会	①理事及び監事候補者推薦の件 ②評議員候補者推薦の件 ③令和3年度 東大阪市ダイヤモンド婚・金婚夫婦のつどい開催の件 ④令和2年度 一般会計補正予算（第4回）の件 ⑤令和2年度 一般会計収支決算認定の件 ⑥令和2年度 事業報告の件 ⑦評議員選任・解任委員会開催の件
6/28	第2回理事会	①会長、副会長及び常務理事選定の件 ②評議員選任の件 ③評議員選任・解任委員会委員選任の件 ④常設委員会委員選任の件 ⑤福祉防災推進検討委員会委員選任の件 ⑥第27回 東大阪市社会福祉大会準備委員会設置の件 ⑦令和3年度 東大阪市ダイヤモンド婚・金婚夫婦のつどい準備委員会設置の件 ⑧苦情解決事業 第三者委員選任の件
8/3	第3回理事会	①会長及び常務理事の職務執行状況報告の件 ②令和3年度 歳末たすけあい運動配分事業実施の件 ③第4回理事会並びに第2回評議員会開催の件 ④東大阪市ダイヤモンド婚・金婚夫婦のつどい開催の件（令和2年度ご対象者）
12/3	第4回理事会	①令和3年度 歳末たすけあい運動配分事業実施の件 ②令和3年度 一般会計補正予算（第1回）の件 ③第5回理事会並びに第3回評議員会開催の件
3/22	第5回理事会	①会長及び常務理事の職務執行状況報告の件 ②令和3年度 歳末たすけあい運動配分事業報告の件 ③評議員選任・解任委員退任の件 ④玉串こども園園長退任の件 ⑤理事退任の件 ⑥玉串こども園園長選任の件 ⑦理事候補者推薦の件 ⑧令和4年度 東大阪市ダイヤモンド婚・金婚夫婦のつどい開催の件 ⑨令和3年度 一般会計補正予算（第2回）の件 ⑩令和4年度 会員募集の件 ⑪令和4年度 役員等賠償責任保険契約締結の件 ⑫令和4年度 受託事業、指定管理事業等契約締結の件 ⑬経理規程一部改正の件 ⑭令和4年度 事業計画及び一般会計予算の件 ⑮新たな常設委員会設置の件 ⑯定款一部改正の件 ⑰令和4年度 第1回理事会並びに第1回評議員会開催の件

③評議員会の開催

開催日	会議名	案 件
6/28	第1回評議員会	①評議員選任の件 ②令和3年度 東大阪市ダイヤモンド婚・金婚夫婦のつどい開催の件 ③令和2年度 一般会計補正予算（第4回）の件 ④令和2年度 一般会計収支決算認定の件 ⑤令和2年度 事業報告の件 ⑥次期理事及び監事選任の件
12/3	第2回評議員会	①令和3年度 歳末たすけあい運動配分事業実施の件 ②第3回評議員会開催の件 ③令和3年度 一般会計補正予算（第1回）の件
3/22	第3回評議員会	①令和3年度 歳末たすけあい運動配分事業報告の件 ②令和4年度 会員募集の件 ③令和4年度 役員等賠償責任保険契約締結の件 ④令和4年度 第1回評議員会開催の件 ⑤令和4年度 東大阪市ダイヤモンド婚・金婚夫婦のつどい開催の件 ⑥新たな常設委員会設置の件 ⑦評議員選任・解任委員退任の件 ⑧理事退任の件 ⑨理事選任の件 ⑩定款一部改正の件 ⑪令和3年度 一般会計補正予算（第2回）の件 ⑫令和4年度 受託事業、指定管理事業等契約締結の件 ⑬令和4年度 事業計画及び一般会計予算の件 ⑭令和4年度 役員報酬総額の件

④監事監査の実施

内 容
新型コロナウイルス感染症感染予防のため、監事による監査の実施については、関係書類等を各監事へお届けし、適正な法人運営、また健全な経営の確保が図れているかを数日にわたり確認いただいた。

⑤評議員選任・解任委員会の開催

開催日	内 容
6/11	新評議員選任の件

⑥理事・監事研修会の開催

開催日	内 容
12/3	①社協事業概要について ②理事・監事の役割について

(2) 常設委員会の開催

①総務委員会

開催日	案 件
5月 書面審議	①令和2年度 一般会計補正予算（第4回）について ②令和2年度 一般会計決算報告について ③令和2年度 事業報告について
7/26	①令和3年度 組織構成会員及び賛助会員加入状況（中間報告）について ②令和3年度 共同募金運動の実施について ③令和3年度 歳末たすけあい運動配分事業の実施について

開催日	案 件
11/22	①令和3年度 組織構成会員及び賛助会員加入状況（中間報告）について ②令和3年度 共同募金運動中間報告について ③令和3年度 歳末たすけあい運動の配分について ④令和3年度 一般会計補正予算（第1回）について
3月 書面審議	①令和3年度 組織構成会員加入及び賛助会員収入状況について ②令和3年度 共同募金運動実績報告について ③令和3年度 歳末たすけあい運動配分事業実績報告について ④令和3年度 一般会計補正予算（第2回）について ⑤令和4年度 会員募集について ⑥令和4年度 受託事業・指定管理事業等契約締結について ⑦令和4年度 事業計画及び一般会計予算について

②ふくし事業委員会

開催日	案 件
5月 書面審議	①令和2年度 事業報告について ②令和2年度 第4回補正・決算報告について
3月 書面審議	①令和3年度 補正予算について ②令和4年度 受託事業等契約について ③令和4年度 事業計画について ④令和4年度 予算について

③玉串こども園経営委員会

開催日	案 件
5月 書面審議	①令和2年度 玉串こども園補正予算(案)について ②令和2年度 玉串こども園決算報告について ③令和2年度 玉串こども園事業報告について
3月 書面審議	①令和3年度 玉串こども園補正予算(案)について ②令和4年度 玉串こども園予算(案)について ③令和4年度 玉串こども園事業計画について

④広報事業委員会

開催日	案 件
8月 書面審議	①第114号広報紙について ②公式SNS試行運用について
3/23	①第115号広報紙について ②公式SNS開設について

⑤ボランティア・市民活動委員会

開催日	案 件
5月 書面審議	①ボランティア・NPO関係（養成講座・需給調整業務報告） ②ボランティア基金累計額の報告 ③善意銀行関係（交通遺児激励金給付事業）の報告 ④ファミリー・サポート・センター事業の現況報告 ⑤善意銀行事業（夏季林間学校・障害者（児）1日レクリエーション）の実施について ⑥令和2年度 事業報告（案）について ⑦令和2年度 補正予算（案）及び決算報告（案）について
7/29	①ボランティア・NPO関係（養成講座・需給調整業務報告及び予定） ②ボランティア基金累計額の報告 ③ファミリー・サポート・センター事業の現況報告 ④善意銀行（交歓ソフトボール大会・合同運動会）の払い出しについて ⑤ボランティア基金ダイレクトメールの発送について

開催日	案 件
11/19	①ボランティア・NPO関係（養成講座・需給調整業務報告及び予定） ②ボランティア基金累計額の報告（ボランティア基金ダイレクトメールの中間報告） ③善意銀行事業（交歓ソフトボール大会・合同運動会）の中止について ④ファミリー・サポート・センター事業の現況報告 ⑤善意銀行（交通遺児奨励金給付事業）の実施について ⑥夏季林間学校の中止に伴う今後の方向性について
3月 書面審議	①ボランティア・NPO関係（養成講座・需給調整業務報告及び予定） ②ボランティア基金累計額報告（ボランティア基金ダイレクトメールの中間報告） ③ファミリー・サポート・センター事業の現況報告 ④善意銀行事業（障害者（児）1日レクリエーション）の実施について ⑤令和3年度 第1回補正予算（案）について ⑥令和4年度 事業計画（案）について ⑦令和4年度 予算（案）について ⑧ボランティア基金チャリティー事業の開催について

⑥福祉と共生のまちづくり推進委員会

開催日	案 件
	※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催延期

2. 事業の推進

(1) 時限措置委員会の開催

①福祉防災推進検討委員会

開催日	案 件
8/3	①東大阪市災害時個別避難計画作成事業について ②その他

②職員採用試験委員会

開催日	案 件
7/14	①委員の紹介及び委員長を選任について ②職員採用試験実施に関する詳細について ③試験科目について ④二次試験の面接員選任について
9/14	①一次試験結果と合否判定について ②二次試験について
10/13	①二次試験実施報告及び最終合否判定について ②今後のスケジュールについて

③社会福祉大会準備委員会

開催日	案 件
8/3	開催要項・贈呈基準・大会予算（案）・記念講演・賞状について
12/3	受賞者候補・大会宣言（案）・役割分担・案内状配布について

(2) 事務局体制の充実

①関係職員連絡会議及びプロジェクトチームによる情報交換、事業の検討及び連携

常務・局長・次長会議（随時）、施策調整会議（随時）、所属連絡会議（毎月）、三老人センター連絡会議

②広報事業職員プロジェクトチーム会議

開催日	案 件
7/2	①「東大阪ふくしだより」第114号（10月1日号）発行スケジュール・編集方針確認 ・内容、紙面構成について ②発行に伴う原稿の持ち寄り、紙面への割り振り ③特集記事の検討 ④公式SNS試行運用に向けての検討 ⑤公式SNSに関する各種規定の検討
12/10	①「東大阪ふくしだより」第115号（5月1日号）発行スケジュール・編集方針確認 ・内容、紙面構成について ②発行に伴う原稿の持ち寄り、紙面への割り振り ③特集記事の検討 ④公式SNS試行運用に向けての検討 ⑤公式SNSに関する各種規定の検討
1/27	①公式SNS試行運用に向けての検討 ②公式SNSに関する各種規定の検討

③ダイヤモンド婚・金婚夫婦のつどい準備委員会

開催日	案 件
8/24	①開催要項について ②予算について ③パンフレットについて ④案内状について ⑤代表謝辞の選定及び役割分担について ⑥記念品について

(3) 職員研修会の実施

①社会福祉施設従事者研修会

開催日	内 容
11/26	内容：「働く多様な人たち～LGBTも働きやすい職場作り～」 講師：一般社団法人 ELLY 理事 峰山 和真 氏

(4) 情報の発信

①「東大阪ふくしだより」（福祉情報、善銀ニュース）等の編集発行

「東大阪ふくしだより」を編集発行し、市内の福祉に密着した情報を掲載し、市内に全戸配布した。
○広報紙「東大阪ふくしだより」

NO.	発行日	主 な 内 容
113号	5/1 (全戸配布)	校区福祉委員会活動紹介、介護予防教室の紹介、令和3年度社会福祉協議会事業計画・予算、共同募金お礼、ファミリー・サポート・センター紹介、ボランティア・市民活動センターからのお知らせ、善意銀行、厚生労働大臣表彰受賞ボランティアの紹介、＜特集記事＞成年後見制度の紹介、日常生活自立支援事業、民生委員・児童委員活動の紹介、避難行動要支援者名簿制度の紹介、いきいきネット相談支援センターの紹介、高齢者地域支え合いセンター事業顕彰、ボランティアグループの紹介、寄付だより（善意銀行・ボランティア基金）、高齢者振り込め詐欺被害者防止機器の紹介、各種講座案内

NO.	発行日	主 な 内 容
114号	10/1 (全戸配布)	赤い羽根の共同募金の紹介、賛助会員募集、令和2年度社会福祉協議会決算報告、コロナフレイル予防、成年後見制度の紹介、〈特集記事〉市内ボランティアグループの紹介、ダイヤモンド婚・金婚夫婦のつどい開催案内、高齢者地域支え合いセンター事業、高齢者虐待発見チェックリスト、いきいきネット相談支援センターの紹介、校区福祉委員会活動の紹介、民生委員・児童委員活動の紹介、避難行動要支援者名簿制度の紹介、ファミリー・サポート・センター会員募集、日赤募金お礼、寄付だより（善意銀行・ボランティア基金）、ふくしの相談窓口の紹介、わんぱくフェスティバルの紹介

②インターネットホームページ「はーとねっと」による情報の発信

情報公開・情報提供の手段として活用している本協議会のホームページ「はーとねっと」は、各所属・事業毎の行事予定や「知りたい、学びたい、参加したい、相談したい」方への最新情報をタイムリーに発信することで、市民の協力や参加を得ることができる。また、「新型コロナウイルス感染症特別貸付」に関する情報を発信し、より多くの市民への情報発信を図った。

令和4年4月から公式SNSを用いた情報発信を行うべく、今年度は試行運用を行い、定期的に市内の地或福祉活動を紹介した。

③パンフレット等の発行及び配布

- 令和2年度 東大阪市社会福祉協議会 事業報告書、決算報告書
- 令和3年度 東大阪市社会福祉協議会 事業計画・一般会計予算書

(5) 社会福祉士実習の受け入れ

新型コロナウイルス感染症の影響により今年度は受け入れを中止。

(6) 会議及び研修等への参加

①会議 等

会議及び研修等 名	開 催 日	場 所
大阪府共同募金会事務長会	8/4	大阪府社会福祉会館
市町村社協連合会事務局長会議	6/10、11/4	※オンライン 他
市町村社協連合会会長・事務局長合同会議	4/8、7/8、9/2、2/3	※オンライン 他
大阪府共同募金会理事会	6/22、3/10	大阪府社会福祉会館
大阪府共同募金会推進特別委員会	4/20	大阪府社会福祉会館
河南ブロック社協連絡会会長・事務局長合同会議	8/19、3/16	※オンライン 他

②担当職員研修 等

会議及び研修等 名	開 催 日	場 所
新人社員研修	4/7、8、5/25、7/8	グロイングアカデミー大阪校
市町村社協新任職員研修会	4/20～5/18（計5日）	※オンライン
高齢者虐待対応研修	5/21	※オンライン
介護予防ケアマネジメント研修	6/29	エルおおさか
地域福祉コーディネータースキルアップ研修	6/29～8/12（計4日）	※オンライン
防災対応力向上研修	7/19、9/30	兵庫県福祉センター他
生活支援コーディネーター養成研修	7/27	※オンライン
共生・福祉のまちづくり研修	9/9	※オンライン
市町村社協管理職員研修	11/10	※オンデマンド
CSW実践者養成研修	11/13、14	※オンライン
労務研修	2/18	※オンライン
後見人等への意思決定支援研修	2/21	※オンライン

③日常生活自立支援事業関係

会議及び研修等名	開催日	場所
新任研修会	6/4、6/8	※オンライン
生活支援員会議・担当者会議	9/6、12/9、3/11	大阪府社会福祉会館 他
社会福祉士実習指導者講習会	9/11、12/12	※オンライン
財産管理人制度に関するセミナー	11/1	※オンライン
成年後見制度（制度の内容と後見事務について）	11/14	※オンライン
成年後見制度と日常生活自立支援事業との関係性研修会	2/17	東大阪市社会福祉協議会
意思決定支援のあり方研修会	3/23	※オンライン

④玉串こども園関係

会議及び研修等名	開催日	場所
保育士研修会	6/9	東大阪商工会議所
子どものための運動発達アプローチ	7/19	東大阪商工会議所
造形・絵画等研修	7/27、28	天満研修センター
福祉スキルアップ研修	9/18	※オンライン
キャリアアップ・マネジメント研修	9/28	大阪社会福祉指導センター
災害時の乳幼児支援について	11/8	大阪社会福祉指導センター
感染症予防対策講習会	11/11	クレオ大阪
実践者スキルアップ研修	11/11、12/13	東大阪市教育センター 他
調理員研修	1/14	※オンライン
キャリアアップ乳幼児保育研修	1/14	OMMビル
食育・アレルギー対応研修	2/8	※オンライン

(7) 会員の加入状況

- ①組織構成会員加入状況 102組織体加入
 ②賛助会員加入状況 4,169件 7,661,560円

(8) 共同募金運動実績（東大阪地区基金会）

- ①戸別募金 17,892,653円
 ②法人募金 8,217,472円
 ③職域募金 1,722,137円（バッジ募金を含む）
 ④学校募金 591,330円（バッジ募金を含む）
 ⑤街頭募金 16,166円（バッジ募金を含む）
 ⑥その他の募金 53,665円
 ⑦歳末たすけあい募金 2,463,022円

※街頭募金は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、啓発をメインに規模を縮小して実施。

(9) 歳末たすけあい運動配分事業

令和3年度歳末たすけあい運動配分金額：3,179,065円

①歳末たすけあい運動配分事業内容・件数

○校区福祉委員会「地域福祉活動」（校区福祉委員会）

年末年始に校区福祉委員会が実施する、要援護者を対象とした支援事業に対して配分金を配分した。

会食会	配食サービス	世代間交流	いきいきサロン	その他の事業	複合事業	合計
0	10	3	5	11	7	36

※配分の校区は37件であったが、1校区は緊急事態宣言発令により直前に中止となり、準備費用に配分金を上回る経費を支出していたため配分金を配分した。

○子育て支援交流事業（子育て支援グループ）

市内にある子育てグループへの活動を支援する目的で、年末・年始の期間に行う交流事業に対し、申請のあった子育てグループに配分金を配分し、活動支援を行った。（件数9件 内容：9件ともクリスマス会）

○ボランティアグループふれあい交流事業

年末年始に法人格を有しないボランティアグループが実施するふれあい交流事業に対し配分金を配布した。（件数1件 内容：お楽しみ会）

（10）苦情解決事業の実施

社会福祉法第82条に基づき、社協の事業・福祉サービスに対し苦情等がある場合、適切な解決を図るため「苦情受付担当者」、「苦情解決責任者」、中立的な立場の「第三者委員」を選任し、苦情等を申し出ることのできる窓口を設けている。今年度は、計1件の苦情を受け付け迅速に対応した。

○苦情受付件数及び解決件数

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
受付件数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
解決件数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

○苦情内容及び対応

- ・地域包括支援センターへ、ひとり暮らしをする父親の介護サービス利用について親族からの相談があり、対応した職員の発言が相談者に不快な思いをさせたため、苦情に至った。すぐに発言についての謝罪を相談者へ伝え、今後の対応については別の職員が行うこととした。

II. ボランティア・市民活動センター

ボランティア・市民活動センターは、校区福祉委員会や福祉団体、ボランティアグループ、NPO・市民活動団体などとの連携・協働の関係の構築を目指して活動した。

1. 福祉組織推進グループ

(1) 連絡調整活動の展開（関係機関・団体との連携）

①福祉団体の支援（福祉団体の事務局としての機能）

- | | | |
|------------|--------------|-----------------|
| ○赤十字奉仕団 | ○老人クラブ連合会 | ○校区福祉委員会連合会 |
| ○母子寡婦福祉会 | ○社会福祉施設団体連絡会 | ○身体障害者福祉協会 |
| ○手をつなぐ育成会 | ○遺族会 | ○人権擁護委員会 |
| ○福祉施設会 | ○高齢者介護施設会 | ○保護司会 |
| ○更生保護女性会 | ○私立保育会 | ○民生委員児童委員協議会連合会 |
| ○ボランティア連絡会 | | |

②各団体の自主的事業の支援（社明運動、人権啓発、日赤社資募集等）

③府社協等関係機関との連携協力

④他団体等が行う事業に対する後援

(2) 福祉対策のための基礎調査の実施

訪問相談事業や支援活動に資する要援護者の把握のために毎年実施している4つの調査を今年度も実施した。

- | | |
|--------------|--------------------|
| ①敬老事業対象者調査 | → 敬老事業の実施 |
| ②ひとり暮らし高齢者調査 | → 福祉票の作成、訪問相談事業の実施 |
| ③高齢者世帯調査 | → 福祉票の作成、訪問相談事業の実施 |
| ④ねたきり高齢者の調査 | → 訪問相談事業 |

(3) 福祉事業の充実

①高齢者福祉対策事業の展開

○敬老事業：各校区福祉委員会で実施

○ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯訪問相談事業

本協議会が民生委員児童委員協議会連合会の協力を得て実施している「ひとり暮らし高齢者訪問相談事業」及び「高齢者世帯訪問相談事業」では、民生委員が担当地区のひとり暮らし高齢者、高齢者世帯を訪問して実態を把握し、「福祉票」を作成し、ひとり暮らし高齢者には見舞い品を配布した。

- ・対象・・・配偶者及び親族、その他の人と同居を共にしないでひとり生活をしている、満65歳以上の高齢者
- ・調査方法・・・民生委員・児童委員協議会連合会の協力により、民生委員が担当地区のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯宅を訪問し、聞き取りにより福祉票に記入する。

・実施時期・・・11月～1月

・ひとり暮らし高齢者（対象者数・・・13,054人）

・高齢者世帯（対象世帯数・・・6,878世帯）

○ねたきり高齢者調査事業（善意銀行事業）

・ねたきり高齢者（対象世帯数・・・113世帯）

(4) 児童福祉対策事業の推進

①ひとり親家庭ふれあいツアーの開催

と き：令和3年7月24日（土） ところ：京都水族館・京都鉄道博物館

参加者：市内在住のひとり親家庭 計19名（大人8名+子ども11名）

②園児と施設の交流

地域の高齢者施設の高齢者と玉串こども園の園児が、なかよし交流会、敬老の日の集い交流会、作品展招待、もちつき会、クリスマス会や昔の遊びの伝承等、世代間交流やふれあいを行った。

(5) 低所得家庭対策事業の推進

①令和3年度 生活福祉資金貸付報告（貸付の決定は大阪府社協）（単位：円）

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
件数	14	2	2	6	7	6	5
金額	3,553,000	307,000	172,000	1,343,000	602,000	291,000	502,000
月別	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
件数	3	8	7	8	17	85	
金額	2,471,000	5,996,000	6,949,000	3,977,000	10,929	39,592,000	

②令和3年度 総合支援資金貸付報告（つなぎ資金含む）（単位：円）

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
件数	0	0	0	0	0	1	0
金額	0	0	0	0	0	450,000	0
月別	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
件数	0	1	0	0	0	2	
金額	0	165,000	0	0	0	615,000	

③令和3年度 緊急小口資金貸付報告（単位：円）

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
件数	1	2	1	3	3	2	4
金額	100,000	200,000	39,000	244,000	270,000	170,000	330,000
月別	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
件数	3	3	3	2	3	30	
金額	280,000	384,000	280,000	175,000	278,000	2,750,000	

④令和3年度 緊急小口資金貸付報告（コロナ特例）（単位：円）

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
件数	422	416	465	286	299	217	175
金額	83,750,000	81,500,000	91,400,000	55,750,000	58,800,000	42,560,000	34,600,000
月別	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
件数	148	108	87	86	113	2,823	
金額	29,260,000	20,900,000	17,450,000	17,100,000	22,200,000	555,270,000	

⑤令和3年度 総合支援資金（延長含む）貸付報告 ※7月以降は、初回のみ（コロナ特例）（単位：円）

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
件数	694	637	1,022	352	274	160	162
金額	377,300,000	334,720,000	558,790,000	188,100,000	145,900,000	85,800,000	87,650,000
月別	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
件数	196	138	84	70	99	3,890	
金額	1,034,900,000	73,300,000	44,200,000	36,350,000	52,700,000	2,089,710,000	

⑥令和3年度 総合支援資金（再貸付）貸付報告（コロナ特例）（単位：円）

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
件数	1,552	175	204	393	434	866	265
金額	831,000,000	93,650,000	110,550,000	210,580,000	233,780,000	472,300,000	141,600,000
月別	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
件数	172	214	139			4,414	
金額	92,100,000	115,650,000	74,400,000			2,375,610,000	

(6) 受託事業の推進

①自動車「ことぶき号」運行事業の実施

令和3年度 自動車運行業務報告

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
運行日数	1	0	1	1	0	1	1	5	3	1	0	2	16
走行距離 (km)	60	0	60	50	0	50	60	450	240	60	0	180	1,210
乗人数	27	0	25	25	0	16	20	141	69	25	0	42	390

(7) 校区福祉委員会活動の推進

①校区福祉委員会連合会・研修会等の開催

於：東大阪商工会議所、文化創造館

開催日	事業名	内 容
4/19	役員会	全体会議議案の事前打合せ
4/27	役員会 全体会議	全体会議議案の事前打合せ ① 校区福祉委員会連合会事業報告・計画について ② 校区福祉委員会連合会役員選任について ③ 避難行動要支援者名簿の更新について ④ 組織構成会員について ⑤ 小地域ネットワーク活動について
7/1	役員会 委員長会議	全体会議議案の事前打合せ ① 敬老事業について ② 令和2年度小地域ネットワーク活動補助金について ③ ダイヤモンド婚・金婚夫婦のつどいについて ④ 社協賛助会員の募集について ⑤ 小地域ネットワーク活動について
8/4	役員会 委員長会議	委員長会議議案の事前打合せ ① 社会福祉大会について、 ② 敬老事業について ③ ダイヤモンド婚・金婚夫婦のつどいについて ④ 歳末たすけあい運動配分事業について
9月	敬老事業実施	<敬老月間（各校区にて敬老事業を実施：年度末まで）>
12/15	研修会 全体会議	校区福祉委員会連合会研修会【校区活動実践報告会】 ① 災害時の個別避難計画について ② 社会福祉大会について ③ 小地域ネットワーク活動について
2月	書面審議	① 校区福祉委員長及び女性代表委員の就任状況報告書について ② 令和4年度校区福祉委員会活動助成金申請書について ③ 小地域ネットワーク活動協力員証の更新について ④ 小地域ネットワーク活動について ⑤ 小地域ネットワーク活動介護予防事業について ⑥ 交通遺児激励金の給付について

②敬老大会実施校区（45校区福祉委員会）

- 敬老大会実施校区 …… 2校区
- 敬老会実施と記念品配布 …… 3校区
- 記念品配布 …… 40校区福祉委員会

2. ボランティア市民活動推進グループ

(1) コーディネート事業の推進

(1) ボランティア・市民活動の推進

①需給調整事業

○受付内容別件数

合計	活動希望	ニーズ依頼	相談	問い合わせ	その他
812(100%)	27(3.3%)	84(10.3%)	26(3.2%)	675(83.1%)	0(0%)

令和3年度は昨年度同様、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、ボランティア・市民活動センターでの受付件数は、812件となり、月平均67件であった。内容別では、「活動希望」の27名全員がボランティア登録をされた。「相談」では、ボランティア活動を行う上での相談や施設からの相談などが寄せられた。また、小・中学校・高校からは福祉教育として、視覚障害者の手引き、手話や点字、車いす体験の指導依頼などがあった。「問い合わせ」675件の内容は、会場、資材機材の提供や情報・資料提供などであった。

②対象者の状況別ニーズ内容

ニーズ内容	対象者の状況							合計
	施設	行政	団体	学生	障害者	高齢者	その他	
a.保育・遊び相手	0	0	9	0	0	0	0	9
b.見守り・話し相手	2	2	1	0	0	1	0	6
c.学習指導・福祉教育	1	7	0	0	0	0	0	8
d.通学通園介助	0	0	0	0	0	0	0	0
e.障害者等外出介助	0	0	0	0	0	0	0	0
f.入院・通院介助	0	0	0	0	0	0	2	2
g.手話通訳	0	0	0	0	0	0	0	0
h.点訳	0	1	5	0	0	0	3	9
i.朗読	0	0	0	0	0	0	0	0
j.要約筆記	0	0	1	0	0	0	0	1
k.清掃・洗濯・買い物等家事	2	0	0	0	0	0	0	2
l.食事・入浴等介助・介護	0	0	0	0	0	0	0	0
m.行事援助	1	1	2	0	0	0	0	4
n.演芸訪問	7	1	26	0	0	0	0	34
o.理容・美容	0	0	0	0	0	0	0	0
p.技術技能提供	0	0	2	0	0	0	1	3
q.その他	1	0	1	0	0	2	2	6
合計	14	12	47	0	0	3	8	84

ボランティアを希望される対象者の状況別ニーズ内容の総件数は84件であった。対象者の状況は「団体」「施設」「行政」の順で、内容は、施設や地域からの演芸訪問、施設からの見守り・話し相手の依頼が寄せられた。

③受付内容別対処方法

対処内容	活動希望	ニーズ依頼	相談	問い合わせ	その他	合計
a.Vバンク登録	27	0	0	0	0	27
b.グループ紹介	0	0	8	17	0	25
c.活動紹介	0	0	0	0	0	0
d.保留(再考)	0	0	0	0	0	0
e.情報・資料提供	0	0	9	10	0	19
f.相談援助	0	0	0	0	0	0
g.講座の案内	0	0	0	0	0	0
h.Vバンク調整	0	73	0	0	0	73
i.他機関等紹介	0	0	0	1	0	1
j.制度施策紹介	0	0	0	0	0	0

対 処 内 容	活動希望	ニーズ依頼	相 談	問い合わせ	その他	合 計
k.連絡・報告受理	0	0	3	0	0	3
l.調整中	0	0	0	0	0	0
m.調整できず	0	8	0	0	0	8
n.取り下げ	0	3	0	0	0	3
o.会場の提供	0	0	0	455	0	455
p.資材機材提供	0	0	0	0	0	0
q.その他	0	0	6	192	0	198
合 計	27	84	26	675	0	812

受付内容別対処方法では、施設・団体等への「演芸訪問」「見守り・話し相手」「行事援助」等のボランティア調整、ボランティアグループなどへ「会場提供」、またボランティア活動希望者へ活動紹介・グループ紹介・ボランティア登録、個別依頼により調整を行った。

④ボランティアグループ（110グループ）及び個人登録ボランティア（73人）の活動内容

活動内容	行事援助	話し相手	朗 読	演芸訪問	技術技能提供	清 掃	その他	計
件 数	40	196	210	229	575	175	5	1,430
活動延べ人数	117	688	1,164	832	1,377	1,308	17	5,503

(2) ボランティア・市民活動の推進

①市民福祉講座の開催

○テーマ：「子どもの虐待はなぜ起こるのか？～子育て世帯を孤立させない～」

開催日	会 場	内 容	受講人数
3/4	市民多目的センター	「ガラスの心～虐待する大人の心を助けたい～」 講師：一般財団法人 児童虐待防止機構オレンジCAPO 理事長 島田 妙子 氏	32
3/11	市民多目的センター	「地域における虐待予防や子育て支援について」 講師：認定NPO法人 児童虐待防止協会 理事長 津崎 哲郎 氏 「東大阪市の児童虐待の現状とこれから」 講師：東大阪市子どもすこやか部 子ども見守り相談センター 保健師 石塚 りか 氏	24

②ボランティア養成事業

○ボランティア養成講座、研修会等の開講：4講座・4コース（年間受講人数 51人、延べ参加人数 73人）

講 座 名	開 催 期 間	会 場	受講人数 (延べ人数)
①手話イベント	※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止		
②社会福祉施設等ボランティア コーディネーター・ 施設ボランティア研修会	7/30	オンライン	施設職員 6 ボランティア10
③ボランティア体験プログラム (福祉施設等での ボランティア体験活動)	※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止		
④ボランティアスキルアップ 研修会	1/21	社会福祉協議会	16
⑤要約筆記ボランティア養成講座	10/14・21・28	市民多目的センター	12 (25)
⑥オンラインdeはじめての手話教室	3/3・10・17	オンライン	7 (16)

③基盤整備事業

○活動拠点としての会場、機材等の貸出

- ・会議室等の提供616回（内訳：ボランティアグループ147回、講座関係14回、会議室等455回）
- ・機材の貸出108回（内訳：車いす41回（介助用34回、学習用7回）点字器3回、白杖6回、アイマスク0回、高齢者疑似体験セット13回、プロジェクター・DVD再生機を含むその他45回）

④東大阪市ボランティア基金の拡充

○ダイレクトメールによる協力の呼びかけ

○令和3年度 ボランティア基金積立実績額（単位：件または円）

年度	寄付者の内訳			積立金	累計額
	企業	団体	個人		
R3	14	4	12	260,040	172,295,526
累計	1,275	747	1,063		

⑤善意銀行事業の展開

○令和3年度 善意銀行寄付及び払出報告

<寄付の部>

口座種別	件数	内容
金銭口座	73	¥52,116,695-
物品口座	57	文具用品、節分用豆、クリスマスケーキ、お菓子、日用品、お米券、飲料 他
合計	130	

<払出の部>

口座種別	件数	内容
金銭口座	6	¥528,241-
物品口座	57	文具用品、節分用豆、クリスマスケーキ、お菓子、日用品、お米券、飲料 他
合計	63	

○交通遺児激励金の給付

○身体障害者（児）1日レクリエーションの開催（※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止）

○施設児童 夏季林間学校の開催（※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止）

○ねたきり高齢者への見舞品（敷きシート）贈呈

⑥ボランティア連絡会会議・事業等の開催

○ボランティア連絡会会議の開催

- ・総会（事業報告・決算報告、事業計画・予算）・・・書面決議
- ・役員会（毎月第2火曜日）計9回
- ・幹事会（毎月第3金曜日）計4回

○ボランティア連絡会との共催事業

- ・東大阪ボランティア研究集会（※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止）

⑦広報啓発活動

○収集ボランティア運動の展開

○第43回「東大阪市民ふれあい祭り」への参加（※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止）

○ボランティア情報テレホンガイド「テレサ」受付件数0件（※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止）ボランティア・市民活動センターに専用回線を設置して、朗読ボランティアグループ「風」の協力により、3分のテープに市政だより、福祉やボランティア活動関係の情報を録音し、24時間いつでも、どこでも聞くことができるテレホンガイドサービスを行ってきた。内容は第2水曜日の午後・第3水曜日の午前に更新している。

○「テレホンガイド」の企画編集チーム会議（テレサ会議）・・・年間計0回

（※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止）

⑧相談援助・機材貸出

○グループ活動への相談援助等

- ・ボランティアコーディネーターの定例会出席他

○「福祉ボランティア体験学習」活動の相談援助、講師派遣

○学校関係へのボランティア活動相談援助

- ・大阪商業大学のゼミナールとの協働事業

㊦児童の学習支援事業

㊧縄手・上四条校区「サマースクール」枚岡西校区「寺子屋」の企画・運営補助

㊨ファミリー・サポート・センター交流会の企画

- ・市内の小・中学校・高校13校に車いす・点字・アイマスクの体験学習指導者等（ボランティア・当事者）を紹介

○小地域ネットワーク活動事業へのボランティア参加協力（7校区延べ13回）

- ・参加校区：成和、北宮、長堂、石切東、池島、三ノ瀬、永和

⑨調査研究・開発

○連絡会議・研修会の参加

- ・市町村ボランティア連絡会総会・・・・・・・・・・・・・書面決議
- ・市町村ボランティア連絡会「25周年のつどい」テーマ別研修会・・12月1日
- ・市町村ボランティア連絡会代表者会議・・・・・・・・・・・・・2月18日

⑩ひとり暮らし高齢者等へのふれあい福祉電話サービス

ボランティアグループ「笑顔の会」の協力により、福祉電話を設置しているひとり暮らし高齢者を中心に五条老人センター、高井田老人センター、角田総合老人センターに設置されたシルバーボランティアセンターから安否確認と話し相手、相談援助として「ふれあい福祉電話サービス」を実施している

⑪NPO市民活動の推進

- 令和3年度利用登録団体件数 3団体
- 助成金情報等のメール配信

(3) 災害ボランティアセンター事業の推進

①災害義援金の受付及び災害義援金募金箱の設置

- 平成30年7月豪雨災害義援金
- 令和4年3月福島県沖地震災害義援金

②地域版避難所運営マニュアル策定のための防災訓練に参加

- 11月7日 花園北校区自主防災訓練

③災害ボランティアセンターの啓発活動

- 7月8日 玉串こども園 5歳児を対象に啓発
- 8月24日 石切東校区いきいきサロン
 - ・防災レシピ（火を使わずにごはんを作る）
- 9月28日 石切東校区いきいきサロン
 - ・ブルーシートで寝袋を作ろう
 - ・ダンボールでトイレを作ろう
 - ・ダンボールを使ったベットを作る

○2月14日 特定非営利法人 ぱあとなあ

- ・災害時の心得
- ・担架の作り方
- ・ブルーシートの寝袋
- ・災害時のトイレについて

○3月6日 ペット防災サポート協会関西支部

- ・災害時のトイレについて
- ・ブルーシートの寝袋

④災害登録ボランティア勉強会

4/6	・災害非常食について 即席ラーメンを水で戻す、乾物や缶詰を利用した料理、スナック菓子を使ったサラダ
7/6	・ダンボールでベッドを作ろう!
10/5	・身近なもので応急処置 ストッキングを利用して頭の傷を覆う、サランラップを利用しての止血、レジ袋でオムツ
11/2	・災害ボランティアセンター設置運営について学ぶ
12/7	・災害時の車椅子の階段移動
1/11	・災害ボランティアセンター (模造紙を使って立ち上げからの流れを把握する)

(4) ファミリー・サポート・センター事業の推進

ファミリー・サポート・センターは、育児を支援したい人（援助会員）と育児の援助を受けたい人（依頼会員）が相互援助を行う会員組織として、東大阪市から委託を受け19年目を迎えた。新型コロナウイルス感染症の感染を防ぐためオンラインを活用した講座の開催に努めた。また、大阪商業大学穴戸ゼミの学生の企画立案による会員交流クリスマス会では、参加会員は、和やかな雰囲気の中での会員交流の場となった。さらに、必須となっている事故防止に関する講習として、「身近に潜むヒヤリ・ハット～市内探索をしてみよう～」では、援助会員と一緒に永和駅周辺を歩きながら、子どもの援助をするうえで危険な箇所について共有を図った。

①援助会員養成講座の開催

開催日	場 所	講 師	参加人数
5/19・26・28,6/2・9	市民多目的センター	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
11/10・17・24,12/1	角田総合老人センター	千葉 郁子 氏、藤田 雅子 氏 東大阪市消防局 警防部警備課 職員 日本赤十字社大阪府支部 指導員	10名
3/2・9・16・23・25	オンライン他	千葉 郁子 氏、藤田 雅子 氏 東大阪市消防局 警防部警備課 職員 日本赤十字社大阪府支部 指導員 布施警察署 交通課 交通総務係	7名

②会員登録状況（R4年3月31日現在）

依頼会員	援助会員	両方会員	合 計
280	117	13	410

③交流会

○「オンライン交流会～アロマとマッサージで育児疲れをリフレッシュ～」・・・参加者 計7名

開催日	場 所	講 師
7/10	オンライン開催	ココロアロマサロン 生嶋 明子 氏

○「会員交流クリスマス会～みんなでクリスマス～」・・・参加者 計39名

開催日	場 所	協 力
12/11	市民多目的センター	大阪商業大学 穴戸ゼミナール学生

○「援助・両方会員交流会～ブレインヨガ教室～」・・・参加者 計5名

開催日	場 所	講 師
2/25	社会福祉協議会	イルチブレインヨガエアーマネージャー 川崎 幸子 氏

④フォローアップ講座

○「子どもとの遊び方～ファミサポ手作りおもちゃの会～」・・・中止

開催日	場 所	協 力
9/11	市民多目的センター	ボランティアグループ 風車の会

○「身近なに潜むヒヤリ・ハット～市内を探索してみよう～」・・・参加者 計10名

開催日	場 所	講 師
3/12	東大阪市社会福祉協議会・市内	ファミリー・サポート・センターアドバイザー

⑤子育て講座

○「ファミサポってなあに？」&「お楽しみ会」・・・参加者 計21名

開催日	場 所	協 力
11/13	市民多目的センター	人形劇ボランティア 「きらりっこ」

⑥援助活動状況（R3年4月～R4年3月）

活 動 内 容	件 数
保育施設の登園前の預かり及び送り	40
保育施設への送り	56
保育施設への迎え	65
保育施設への迎えから帰宅後の預かり	217

活 動 内 容	件 数
保育施設からの帰宅後の預かり	0
学校登校前の預かりから送り	0
学校への送り	93
学校への迎え	3
学校への迎えから預かり	6
留守家庭児童育成クラブの開始までの預かりから送り	0
留守家庭児童育成クラブへの送り	0
留守家庭児童育成クラブへの迎えから自宅（祖父母宅）への送り	4
留守家庭児童育成クラブへの迎えから帰宅後の預かり	48
留守家庭児童育成クラブからの帰宅後の預かり	0
子どもの病後時の援助	0
子どもの習い事等の援助	280
保育施設・学校等休み時の援助	37
出産に伴う子どもの預かり	0
保育所等施設入所前の援助	0
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	5
保護者等の求職活動中の援助	0
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	1
保護者等の買物等外出の場合の援助	40
保護者等の病気、急用等の場合の援助	0
保護者の保育負担軽減のための援助	28
新生児対応の訪問保育援助（保育補助）	49
新生児対応の訪問保育援助（同伴外出）	0
合 計	972

⑦依頼児童（乳幼児含む）年齢別集計

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	合計
件数	53	58	72	114	146	109	122	68	183	47	0	0	972

Ⅲ. 角田総合老人センター

角田総合老人センターは、角田・五条・高井田の3カ所の老人センターの指定管理者として管理運営を受託し、その施設を活動拠点として高齢者地域支え合いセンター事業、シニア地域活動実践塾（悠友塾）の開催など、高齢者福祉の基幹施設として各種事業を展開してきた。

令和2年2月から蔓延し始めた新型コロナウイルス感染症の影響で、市内全ての老人センターで令和3年4月25日から6月20日までクラブ活動やイベントなどの事業をすべて中止とし、受付業務・相談業務のみとなり、その後も飛沫感染や濃厚接触の恐れのある事業は引き続き休止し、再開した事業についても参加者数に制限を設けるなど三密を避けての開催となったため、昨年度と同様に延べ利用者数が減少した。

また、ダイヤモンド婚・金婚夫婦のつどいは新型コロナウイルス感染症拡大防止に充分留意しながら、令和2年度と令和3年度の対象のご夫婦を招待しお祝いをした。

要介護者への相談援助等を展開しているコミュニティソーシャルワーカー（CSW）配置事業については、複合的な課題やセルフネグレクト・生活困窮等の課題について、分野を超えた専門機関との連携や地域の方々の協力を仰ぎ課題解決に取り組んだ。生活困窮においては生活困窮者自立支援制度や社会貢献支援制度との連携強化を図った。また、関係機関が実施する研修会や事例検討会に積極的に参画し、分野横断的なネットワークの構築に努めた。

さらに、社協地域担当職員（COW）は、校区福祉委員会をはじめとする地域福祉を担う各種団体を支援し、地域福祉課題の発見や解決への取り組みなど、地域福祉推進のための連携等について話し合う「地域福祉ネットワーク推進会議」を3地域（東・中・西）でオンラインやハイブリッド形式で開催し、コロナ禍においても高齢・障害・児童の各分野における行政、専門機関との顔の見える関係づくりに取り組んだ。

1. 角田老人センター

今年度に当センターを利用した高齢者の延べ人数は11,173人、利用者数の月平均は931人、1日平均では38人であった。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で4月25日から6月20日までクラブ活動やイベントなどの事業をすべて中止し、その後も飛沫感染や濃厚接触の恐れのある事業は中止していたため延べ利用者数は昨年度同様減少した状況であった。この1年間に新規の利用券を発行した人数は89人で、今年度の利用実人数（年度内に1回でも利用された方の人数）は男性271人、女性515人、合計786人であった。

・年間利用者数（開館日数：293日）（単位：人）

	男	女	計
年間	5,699	5,474	11,173
一日平均	19	19	38

(1) 指定管理事業

①老人センター運営事業

(1) 情報提供（情報サービス・啓発事業）

①情報の提供

市民や利用者にはセンター事業や高齢者福祉等に関する情報を提供するために、市政だよりや東大阪ふくしだより、ホームページ等を活用するとともに、月間予定表「角田総合老人センター」を発行した。また、関係機関等へのチラシやポスター等の配布や掲示等により、情報の提供を行った。

②場所の提供

部屋の貸し出しをしている団体数は7団体で、主にクラブ活動の同好会やシニア地域活動実践塾の卒業生で構成されているボランティアグループの他、近隣の校区福祉委員会、地域包括支援センター連絡調整会議等へ活動の場を提供し、延べ4,891人が利用した。

(2) 教養講座・教室・レクリエーション事業

①生涯教育事業

○定期開催事業（週・月単位で開催）

事業名	開催数	内 容	延べ参加人数
教 養 講 座			
囲碁教室	10	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため事業中止	94
初心者将棋教室	29	初心者を対象にした将棋教室	233
健康づくり推進事業			
笑っていこうや！楽しくトライ体操	9	楽しくトライ体操推進員による健康体操	311
みんなの体操ひろば	10	悠友塾OBによる体操教室	176
ニコニコ体操	8	ヨガなどを取り入れた健康体操	191
メロディうんどう教室			
初心者卓球教室		新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため事業中止	
DVD健康体操			

○映画鑑賞会（午前・午後に分けて開催 参加人数は合計）

開催日	上 映 作 品	参加人数
6/29	「私の頭の中の消しゴム」	42
7/30	「風のたより」	46
8/31	「雨あがる」	30
9/28	「七つの会議」	40
10/27	「ツナグ」	52
11/30	「エイプリルフールズ」	50
12/14	「僕のワンダフル・ライフ」	37
1/25	「鉄道員ぽっぽや」	39
2/21	「天地明察」	47
3/29	「ギフトッド」	51

○その他の教室、講座、交流事業

開催日	事業名	内 容	参加人数
4/13	ユッキーズダンス	音楽に合わせダンスを取り入れた体操	18
4/22	和楽コンサート	大正琴・ギター・日本舞踊など	29
7/18	だん・DAN! ダンス教室	音楽に合わせて脳トレ・筋トレ	20
8/18	ユッキーズダンス	音楽に合わせダンスを取り入れた体操	20
8/27	リフレッシュヨガ教室	マットを使っのヨガ体験	19
8/28	夏の昼下がりにコンサート (午前・午後に分けて開催)	サクソ演奏・ジャグリング	30
9/18	青春のつどい	フラダンス・マジックバルーン	30
9/21	絵手紙体験教室	絵手紙の体験教室	7
10/19	絵手紙体験教室	絵手紙の体験教室	8
10/29	リフレッシュヨガ教室	マットを使っのヨガ体験	18
11/2	絵手紙体験教室	絵手紙の体験	8
11/5	だん・DAN! ダンス教室	音楽に合わせて脳トレ・筋トレ	23
11/10	陶芸体験教室	陶芸を通じて交流と親睦	3
11/16	絵手紙体験教室	絵手紙の体験教室	5
11/17	脳トレピアノ®	ピアノによる脳トレ	20
11/22	手作り作品教室	「絵馬」づくり	6
11/26	トールペイント・デコパージュ体験教室	クリスマスのトールペイントと デコパージュ	10

開催日	事業名	内 容	参加人数
12/3	囲碁交流会	囲碁を通じて交流と親睦	23
12/3	手作り作品教室	「絵馬」づくり	10
12/10	将棋交流会	将棋を通じて交流と親睦	19
12/15	ユッキーズダンス	音楽に合わせダンスを取り入れた体操	21
12/18	クリスマスコンサート	吹奏楽演奏	75
12/20	高齢者向けスマホ教室	スマートフォンでカメラを使う	9
12/24	リフレッシュヨガ教室	マットを使っのヨガ体験	19
1/7	だん・DAN! ダンス教室	音楽に合わせて脳トレ・筋トレ	24
1/11	おもしろ仏像講話	仏像についてのお話	20
1/11・14・31	思い出の布でバインダー作り	布を使っのバインダーづくり	20
1/18	高齢者向けスマホ教室	スマートフォンでカメラを使おう	14
1/24	高齢者向けスマホ教室	スマートフォンでマップを使おう	10
2/28	脳トレピアノ®	ピアノによる脳トレ	17
2/28	高齢者向けスマホ教室	スマートフォンで災害に備えよう	10
3/4	だん・DAN! ダンス教室	音楽に合わせて脳トレ・筋トレ	25
3/11・12	作品展	生きがい教室の作品展示会	235
3/11	ネイル体験	希望者にネイルを施す	11
3/25	リフレッシュヨガ	マットを使っのヨガ体験	20

(3) 高齢者生きがい教室（クラブ活動）

高齢者の生涯教育の一環として、生きがいづくりや人と人との交流に重点をおいた生きがい教室を実施し、利用者のニーズにあったクラブ運営を行った。ただし、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため飛沫感染の恐れのあるクラブは休止した。また、開催したクラブについても2班に分けるなど人数制限を行って実施した。（クラブ活動状況）

クラブ名	講師名	会員数 (人)	実施日			実施 回数	出席人数 (延べ)	
			週	曜	時 間			
講 師 付 き ク ラ ブ	茶 道	竹田 宗恵 射場 宗栄	14	第2・4	水	13:30-15:30	12	151
	華 道	清水 睦甫	14	第1・3	月	13:30-15:30	13	159
	詩 吟	森 雅声	0	第1・3	火	13:30-15:30	0	0
	陶 芸	山田 ウタ子	(1部)11 (2部)12	第1・3	木	10:00-12:00 13:30-15:30	14 14	61 78
	編物手芸	山野 弘子	28	第2・4	水	13:30-15:30	14	113
	社交ダンス	角谷 留吉	(男)0 (女)0	第1・3	木	13:30-15:30 13:30-15:30	0	0
	書 道	石田 雅泉	(1部)26 (2部)28	第2・4	火	10:00-12:00 13:30-15:30	6 7	132 158
	民 謡	井上 美由紀	0	第1・3	金	13:30-15:30	0	0
	新 舞 踊	園 多恵	11	第1・3	金	13:30-15:30	14	122
	フラダンス	庄司 明子	(1部)12 (2部)14	第2 第4	金	14:00-15:00	8 7	85 99
	コーラス	西村 善子	0	第2・4	月	13:30-15:30	0	0
	いきいき 歌体操	いきいき歌体操 リーダー	0	第3	火	13:30-15:30	0	0
	美 術	川口 誠次	20	第1・3	水	13:30-15:30	17	98
	楽楽体操	樫本 雄平	(1部)16 (2部)17 (3部)17 (4部)15	第1 第2 第3 第4	火	13:30-14:30	7 7 7 8	101 92 97 83

クラブ名	講師名	会員数 (人)	実施日			実施回数	出席人数 (延べ)	
			週	曜	時間			
自由クラブ	カラオケ	(1部) 4	第1・3	月	13:00-16:00	4	16	
		(2部) 12		水	13:00-16:00	6	39	
		(3部) 9		木	13:00-16:00	5	31	
	謡曲	6	第2・4	火	10:00-12:00	4	17	
	テノコク	10	第2・4	水	13:30-15:30	15	97	
	卓球	なし	(1部) 10	第2・4	月	13:30-14:30	5	55
			(1部) 6			14:30-15:30	5	
			(2部) 6		木	13:30-14:30	4	
			(2部) 4			14:30-15:30	4	
			(3部) 5			10:00-11:00	4	
(3部) 0	土	11:00-12:00	0	19				
計		477				203	1,939	

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止したクラブは、実施回数・出席人数を0と示す。

○卓球・カラオケ・ダンスによる開放事業

今年度も新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止した。

(4) 健康生活維持並びに向上のためのサービス事業

いきいき健康相談：毎月1回 第3水曜日 延べ16名

車いす貸し出し事業：12回

(5) 老人センター交流事業

今年度も新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、三老人センター交流事業・六老人センター交流会・三老人センター合同交歓吟詠大会を中止した。

(6) 実習生・職場体験の受け入れ

小阪病院看護専門学校生（令和2年度補習）：7月28日～30日までの3日間、学生2名を受け入れた。

小阪病院看護専門学校生（令和2年度補習）：8月2日～4日まで3日間、学生2名を受け入れた。

布施北高校（インターンシップ）：9月14日、1日間、1名を受け入れた。

布施北高校（デュアル実習）：10月19日・11月2・9・16日、4日間、1名を受け入れた。

玉川中学校（職場体験学習）：11月18・19日、2日間、2名を受け入れた。

関西大学（インターンシップ）：12月1日、1日間、1名を受け入れた。

小阪病院看護専門学校生：1月11日～3月10日までの24日間、学生16名を受け入れた。

武庫川女子大学（ボランティア活動）：3月8・10日、2日間、1名を受け入れた。

(7) 取材・視察について

今年度は依頼がなかった。

(8) 苦情・要望等の件数及びその内容

・利用者からの要望等はなく、適切な事業運営を行った。

②高齢者地域支え合いセンター事業

高齢者地域支え合いセンター事業は、元気な高齢者が地域でまちづくりやボランティア活動などを通していきいきと活動するとともに、市民に対して認知症への理解や周知を行いながら、要介護状態や認知症になった場合は地域で助け合い、支え合う地域社会を推進していくため展開している。また、角田総合老人センターが総合的なコーディネート業務をはじめ、事業の取りまとめ等を行い、五条・高井田老人センターの2カ所にランチ機能を持たせ、高齢者などがより身近な所で事業を推進するための地域拠点として役割を担っている。

今年度も、行方不明になった認知症の人を早期に発見する取り組み「SOSオレンジネットワーク事業」と、在宅で異変があったときの安否確認や緊急対応する仕組み「事業所ふくしネットワーク事業」を充実するため、協力事業所の拡充に努め、地域との連携を図り推進することができた。

(1) ワンコイン生活サポート事業

「ワンコイン生活サポート事業」は、日常生活のなかで困りごとを抱えた住民の方が、地域で安心した生活が送れるように、ちょっとした家事援助をワンコインで提供する、地域で支え合う仕組みとして利用会員と援助会員で構成するサポート事業を実施している。

今年度もワンコイン生活サポーター養成講座を4回開催し、修了生のうち17名が援助会員として登録があり、実数は556名となった。また、サービスを希望する利用会員の登録は1,012名となり、月平均43件のサービスを実施した。認知症に関する情報も提供していくなど事業の広報を行い、地域で安心した生活が送れるよう推進した。

<ワンコイン生活サポート事業状況>

会員状況	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規援助会員数			4			4			4			5	17
退会数												56	56
援助会員数	595	595	599	599	599	603	603	603	607	607	607	556	556
新規利用会員数	5	3	6	5	1	7	7	7	5	0	4	1	51
退会数												66	66
利用会員数	1032	1,035	1,041	1,046	1,047	1,054	1,061	1,068	1,073	1,073	1,077	1,012	1,012
援助内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1.食事の支度・片付	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
2.衣類の洗濯・繕い								1					1
3.買い物	4	4	4	4	4	3	4	4	4	3	3	2	43
4.住居等清掃・整理	35	26	27	30	24	28	28	31	32	22	20	19	322
5.庭の清掃・草取等	4	7	7	9	3	7	9	6	7	3	2	3	67
6.ゴミ出し	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
7.電球交換									1	1	1		3
8.見守り・話し相手	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	14
9.外出の付添	1								1				2
10.病完通院時 のお世話				1			1		1			1	4
11.入院中の お世話													0
12.産前産後の お世話													0
13.換気扇など 部分清掃				1									1
14.診察券出し													0
15.家庭の些細な 修理			1			1	1	2				1	6
16.菜とり等		1	1		1		1		1				5
17.保育園の送迎													0
18.その他	2	2	2	2		1	3	3	3	1		1	20
月別利用件数合計	49	43	46	51	35	43	50	50	53	33	29	30	512
月別利用回数合計	116	101	107	112	88	113	119	112	114	76	65	73	1,196

○ワンコイン生活サポーター養成講座

- ① 6月21日 市民多目的センター 参加者 4名
- ② 9月14日 イコーラム 参加者 4名
- ③ 12月22日 東体育館 参加者 4名
- ④ 3月17日 角田総合老人センター 参加者 5名

○ワンコイン生活サポーター研修会

- 3月22日 角田総合老人センター 参加者32名

(2) 介護予防活動ボランティアの組織化及び活動支援

例年、老人センターや老人クラブ連合会、地域包括支援センターなどの機関・団体と連携し、介護予防ボランティアの育成や活動の支援、活動の機会を提供してきた。今年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、地域の介護予防事業及びボランティアの活動が自粛する傾向にあり「けんこう運動見本市」の開催は見合わせた。介護予防ボランティアグループの紹介冊子は作成し、介護予防ボランティアの啓発することができた。

(3) 認知症等高齢者支援事業

東大阪市オリジナルのハンドブックを活用し、認知症サポーター養成講座終了後に、サポーターとして地域で活躍していただける方にサポーター宅の玄関に貼るステッカーを配布した。また、認知症サポーター養成講座の受講者のいる企業、商店等に、ボランティアの作成による「ロハ隊長（認知症サポーターのマスコット）」のぬいぐるみを設置して認知症の方に相談窓口となっていたかとともに、作成した啓発チラシを活用し地域で認知症になっても安心して生活ができるよう啓発した。

認知症サポーター養成講座は、コロナ禍ではあるが、キッズサポーターを中心に実施回数・受講者ともに増加しつつある。また、キャラバン・メイト役員会や研修会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に充分配慮し、オンラインで開催した。

○キャラバン・メイトのスキルアップ研修、意見交流会の実施

※キャラバン・メイト連絡会を中心に、研修会の運営や意見交流会等を開催し、地域での認知症サポーターキャラバン事業を展開した。

※キャラバン・メイト＝認知症サポーター養成講座の講師役

○キャラバン・メイトへの情報提供（メイトだよりの発行）

○認知症サポーター養成講座の開催調整

○オレンジメンバー養成講座修了者の会「チームオレンジ東大阪」の活動支援

○オレンジメンバー研修会

※会場参加とオンライン参加のハイブリッド形式で実施した。ボランティアグループ「チームオレンジ東大阪」とSOSオレンジネットワーク登録事業所及びキャラバン・メイトとの合同研修会を開催し、54名（会場参加20名・オンライン参加34名）が参加した。

<認知症サポーター養成講座実施状況>

（月別実施回数・受講者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施回数	4	1	3	5	5	1	7	8	11	4	7	7	63
受講者数	45	25	38	54	228	5	184	358	510	286	478	260	2,471

認知症サポーター養成講座 対象者別開催数

受講対象者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1.住民	1 民生委員・校区福祉委員等								1					1
	2 防災・防犯・SOS ネット													0
	3 自治会・老人クラブ・子供会				1									1
	4 ボランティア組織								1					1
	5 介護者のグループ													0
	6 その他一般住民ほか	2		1	2	3	1	4	1	3	1	3	3	24
2.企業・職域	1 警察・消防・郵便局													0
	2 金融機関				2									2
	3 タクシー・交通機関													0
	4 スーパー・コンビニ													0
	5 医療関係													0
	6 商店会													0
	7 その他					1								1
3.学校	1 幼稚園・保育園													0
	2 小学校							1	3	5	2	2	1	14
	3 中学校											2	3	5
	4 高校・専門学校・大学					1		1		2	1			5
	5 教職員等		1											1

受講対象者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4.行政	行政								2					2
5.介護サービス	介護福祉サービス従事者	2		2				1		1				6
合計		4	1	3	5	5	1	7	8	11	4	7	7	63

(4) SOSオレンジネットワーク事業

SOSオレンジネットワーク事業は、行方不明になるおそれのある認知症の人を地域の支援者の協力を得て早期に発見できるよう、関係機関及び市内の企業等の支援体制を構築し、認知症の人の安全確保と家族への支援を図ることを目的としている。認知症の人が行方不明になった際、協力事業所として登録いただいた関係機関や事業所に、本人の身体的特徴や行方不明時の身なりなどの状況を指定のメールにて配信し、それらしき方を見かけたら情報提供に協力をいただき、利用希望の方は家族から担当ケアマネジャーを通して住所地の地域包括支援センターに申請登録するシステムである。

今年度末の登録者は589名で、登録事業所は176事業所であった。これまで167件（うち令和3年度は9件）の搜索依頼があった。また、登録者に配布している「見守りトライくんシール」（印刷されたコードを読み取ると事務局の連絡先が表示され、素早く身元確認ができるもの）については本年度も広く啓発を行い、東大阪市民や他市の市民からも連絡をいただき、見守りトライくんシールを介して早期発見・保護につながったケースは5件あった。

さらに、「ロバで見守り隊」ステッカーを登録者（認知症高齢者）と協力事業所に配布し、登録者宅に貼付しその形状を記憶することで、本人が道に迷った際、事業所に貼付されたステッカーを目印に自身で助けを求める自助力を促すシステム作りを推進した。今後も多くの方に広報啓発し、認知症の人を見守るネットワークづくりを拡充していく。

(5) 事業所ふくしネットワーク事業

事業所ふくしネットワーク事業は、新聞や飲料、食材、弁当などの宅配事業者とのネットワーク化を進め、高齢者世帯やひとり暮らし高齢者の方などに何か異変があった時には、地域の支援者の方と連携して、安否確認や緊急対応していく仕組みである。

今年度末の登録事業所は104事業所で、新規の登録が5件あった。令和3年度の調査依頼は14件あり、一刻も早く異常を察知できるよう登録企業の増加を推進していく。

(6) 顕彰事業

隔年開催のため、今年度は実施せず。

(2) 市受託事業

①シニア地域活動実践塾「悠友塾」

高齢者の方々が健康で、より豊かな生きがいのある生活を送れるよう、「楽しく集い・学び・語らい・行動する」という機会と場を提供することを目的に開講した。今年度も新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発令されたため通常の5月の開講を延期し、一部授業を割愛及び授業時間を短縮して9月より開催した。

- ・実施期間：令和3年9月9日～令和4年2月24日
- ・開催日時：毎週木曜日（第3週目を除く） 9：30～12：00 13：00～15：30
- ・内 容：「専門科目」
 - （午前）「環境と自然を学ぶ」
 - 「健やかなからだづくりを目指し、健康について学ぶ」
 - （午後）「歴史を学び、文化財を知る」
 - 「日々の暮らしから、福祉とまちづくりを考える」
 の4つのコース
 「共通科目」午前・午後の2コースずつが合同でともに学び、グループワークなどを通して仲間づくりができた。
- ・修了者数：66名（歴史・文化財：19名・暮らしとまち：9名・環境自然：17名・健康：21名）

②介護予防事業

高齢者の介護予防を目的に各種教室を実施し、日常生活動作指導などを含め、利用者が気軽に参加できる教室を実施した。

事業名	実施回数	内 容	延べ人数
GO! ゴー! ピラティス	3	コア(体幹)を強化する体操	183
男性のための筋トレ教室	2	男性を対象にした健康体操	35
バランス健康体操	4	姿勢改善体操	66
歴史探訪ウォーク	0	ウォーキングをしながら史跡をめぐるイベント	0
計			284

③高齢者振り込み詐欺被害等防止機器設置事業

特殊詐欺被害防止のため、家庭用電話機に取り付ける防犯機器を年度内に無償貸与(期間満了後は無償で譲渡)した。今年度は申込数は191件で設置数は179件となった。

④ダイヤモンド婚・金婚夫婦のつどい

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に十分配慮し、令和2年度および令和3年度の式典を午前と午後の2部制で10月15日と10月16日の2日連続で開催した。

(3) その他

①シルバーボランティアセンター事業の推進(ボランティア・市民活動センター サテライト事業)

(1) ボランティアグループの活動支援

- ・「はだしの会」によるひとり暮らし高齢者世帯への福祉電話訪問：中地区674件
- ・地域型ボランティア「希望の会」への定例会会場提供及び活動紹介
- ・楽しくトライ体操推進員の会への定例会会場提供及び活動紹介

(2) ボランティア養成事業

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため実施せず。

(3) 弥生祭り「クラブ活動発表会」の開催時に介護予防活動の周知を目的として体力測定コーナーを設置していたが、昨年に続き新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため弥生祭りが中止となったため今年度も開催せず。

(4) カフェ悠友の開催

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため実施せず。

(5) 赤ちゃん広場へのボランティア派遣

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため事業が中止となった。

<シルバーボランティアセンターの活動内容>

活動内容	行事援助	話し相手	外出介助	子どもの遊び相手	演芸訪問	介護予防体操	その他	計
件数	0	0	0	0	0	9	0	9
活動延べ人数	0	0	0	0	0	87	0	87

<ボランティアグループ定例会>

ボランティアグループ名	回数	人数
悠友塾健康コースOB会1期生(悠友会)	1	19
悠友塾健康コースOB会2期生(健悠会)	5	63
悠友塾健康コースOB会4期生(あかね会)	2	32
希望の会(地域型ボランティア養成講座修了生)	6	7
チームオレンジ東大阪(オレンジメンバー養成講座修了生)	26	26
楽しくトライ体操推進員の会(楽しくトライ体操推進員養成講座修了生)	3	40

<角田総合老人センターボランティア>

グループ名	内 容	回数	人数
花壇ボランティア	正門前の花壇への花植・手入れ	2	8
カフェ悠友	センター内の喫茶コーナー運営	0	0

2. 五条老人センター

今年度は昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底して生きがい教室や各種教養講座・交流事業など内容や参加人数を見直し、利用者の安全を第一に考え運営してきた。今年度の延べ利用者数、新規利用者数は前年度より増加した。

今年度は当老人センターを利用した高齢者の総数は7,525人、利用者数の月平均は627人で、1日平均は26人であった。この1年間に新規の利用者証を発行した人数は88人で、今年度の利用実人数（年度内に1回でも利用された方の人数）は男性142人、女性342人、合計484人であった。

・年間利用者数（開館日数：293日）（単位：人）

	男	女	計
年 間	4,557	2,968	7,525
一日平均	16	10	26

(1) 指定管理事業

①老人センター運営事業

(1) 情報提供（情報サービス・啓発事業）

市民や利用者センター事業や高齢者福祉等に関する情報を提供するために、市政だより、東大阪ふくしだより、社協ホームページ、まなびにトライ等を活用するとともに、月間予定表「五条老人センター」を発行した。また、公道に面した正門横の掲示板を活用し、地域住民に対して老人センター事業の啓発を行った。

(2) 教養講座・教室・レクリエーション事業

①生涯教育事業

○教養講座

開催日	事業名	内 容	参加人数
4/12	防犯教室	枚岡警察・危機管理室による特殊詐欺被害防止の講話	17
7/14	手作り作品教室	フラワーアレンジメント体験	10
7/30	教養講座	おもしろ仏像講座	17
10/14	防犯教室	府警生活安全部・危機管理室による特殊詐欺被害防止の講話	26
11/30	手作り作品教室	ちぎり絵教室	20
1/13	手作り作品教室	レジンを使ったキーホルダー作り	8
2/2	教養講座	歴史講座（原始・古代の枚岡）	10

○映画鑑賞会

感染リスクを低減させる環境を整えることが難しかったため、今年度は開催を見合わせた。

○その他の教室、講座、交流事業

開催日	事業名	内 容	参加人数
6/30他	ネイチャー講座 (計3回)	「流木飾り」「草木染め」「つるかご」を生駒ネイチャークラブトクラブが講師となり山や河で採取したツルや古木などで作品を作成した。	(延べ) 36
8/4他	スマホ教室中級編 (計6回)	地元企業の協力で開催 スマートフォンの使い方を学ぶ	(延べ) 60

開催日	事業名	内 容	参加人数
9/29	重陽の集い	アコーディオン演奏と腹話術	22
2/3	将棋大会	トーナメント方式で開催 利用者間の相互交流を図る	16
3/3	囲碁大会	総当たり方式で開催 利用者間の相互交流を図る	16
	卓球大会	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業中止	

(3) 高齢者生きがい教室（クラブ活動）

高齢者の生涯教育の一環として、生きがいづくりや人と人のつながりに重点を置いた生きがい教室を実施した。
（飛沫感染の恐れのあるクラブは中止した）

①クラブ（講師付）・・・12クラブ

クラブ名	講師名	実施日			会員数	実施回数	延べ 出席人数
		週	曜	時間			
華 道	勝山 満甫	第1・3	月	13:00-15:00	7	12	77
俳 句	立村 霜衣	第 2	月	13:00-15:30	17	9	103
詩 吟	西村 国良	第1・3	火	13:30-16:00	6	5	24
折り紙	中里見 順子	第 1	火	9:30-11:30	8	8	47
書 道	焼野 寿堂	第2・4	火	13:00-15:00	16	14	187
茶 道	檀浦 宗柳	第2・4	水	13:00-15:00	12	16	166
ダンス	喜家村 光子	第1・3	木	13:00-15:00	0	0	0
歌体操	近藤 民子	第2・4	木	10:00-11:30	0	0	0
手 芸	谷脇 睦子	第2・4	木	13:00-15:00	30	14	258
新舞踊	大泊 和子	第1・3	金	14:00-16:00	18	12	134
民 謡	植元 和市	第2・4	金	13:30-15:30	11	4	35
万葉-ルガミト	風間 愛子	第 4	金	13:30-15:00	5	6	27
計					130	100	1,058

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止したクラブは、実施回数・出席人数を0と示す。

②クラブ（講師なし）・・・2クラブ

クラブ名	世話人	実施日			会員数	実施回数	延べ 出席人数
		週	曜	時間			
カラオケ1部	耳兼 隆	第1・3	水	10:00-12:00	8	5	44
カラオケ2部	森川 剛	第1・3	水	13:00-15:00	10	5	39
計					18	10	83

③同好会（講師なし）・・・1クラブ

クラブ名	世話人	実施日			実施回数	延べ 出席人数
		週	曜	時間		
水 墨 画	徳田 義夫	第2・4	火	10:00-12:00	15	169
計					15	169

(4) 地域交流事業・世代間交流事業

例年地域に根ざした老人センターとして、高齢者が安心かつ楽しく、いきいきとした生活を送ることができるよう、地域住民との交流を深めるための「夏祭り」「クラブ活動発表会」および近隣に住む幼児とその母親をはじめ、小学生・高校生と世代間の交流を図った。今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、ほぼ全ての事業を中止した。

①地域交流事業

開催日	事業名	内 容	参加人数
5/11 他	消防訓練	体験と防火講話	27
8/	普通救命講習	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため事業中止	
8/	夏祭り		
11/	クラブ活動発表会		
計			27

②世代間交流事業

開催日	事業名	内 容	参加人数
9/ 他	あさひっこと一緒に	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため事業中止	
1/	高校生と一緒に百人一首		
計			0

(5) 各種相談事業

日常生活の心配事や悩み、健康等に関する総合相談事業を実施

相談別	相談員	相談日	内 容	相談件数
健康相談	看護師 早崎 葉子氏	第1木曜日 13:30~15:30	高齢者の健康上の悩みについて個別に相談を受け、助言や指導を行っている	26
生活相談	職員	常時	高齢者の日常の心配事などについて個別に相談を受け助言などを行っている	12
計				38

(6) 健康づくり推進事業

高齢者が運動機能の維持や向上を楽しみながら実施でき、いきいきと健康に暮らすための一助となることを目的に各種健康体操教室を開催した。利用者が気軽に参加できる「みんなの体操ひろば」は、介護予防活動ボランティア養成講座修了生で、かつセンター利用者でもある高齢者がボランティアリーダーとなって活躍している。今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため人数制限や密を避ける工夫をしながら実施した。

①各種教室

開催日	教室名	内 容	延べ参加人数
第2・4水曜日	初心者卓球教室	卓球を通じて人との交流と健康づくりを推進	44
8/3	健康のつどい	食の話と体操（若さを保つ食生活）	15
11/17	ヨガ教室	健康ヨガ教室	16
6/23他（計20回）	バランス健康体操	ボールを利用しストレッチを意識した介護予防体操教室	272
3/17	体力測定会	体力測定による健康管理	30

②みんなの体操ひろば・介護予防ボランティアグループによる講座

開催日	内 容	延べ参加人数
第2月曜	介護予防活動ボランティアによる頭や体を刺激するゲームと運動のレクリエーション 指導：ボランティアグループ「エンジョイ」	113
第3月曜	介護予防活動ボランティアによる「楽しくトライ体操」やレクリエーションなど 指導：ボランティアグループ「ダンシング・クローバー」	102
第4月曜	介護予防活動ボランティアによる「転倒予防体操」や「脳トレーニング体操」、健康講話など 指導：ボランティアグループ「なかよし」	34

③健康づくり市民グループによる健康講座の開催（東保健センターとの共催事業）

開催日	講座名	内 容	延べ参加人数
第3火曜	そよかぜの会	9~1月の計5回開催 脳トレ、介護予防体操、防災講話など	80
6/29	まちかど測定	体組成測定、脳トレ体操	27
合 計			107

(7) 社協内三老人センター連携による交流会

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため事業を中止した

(8) 実習、体験学習の受け入れ

- ・小阪病院看護専門学校生：8月2日～8月4日、令和4年1月17日～3月4日までの間 計12名

(9) 苦情・要望等の件数及びその内容

- ・0件

②高齢者地域支え合いセンター（ランチ）事業

例年は認知症の方を見守るためのネットワークと支え合うまちづくりを他の老人センターや関係機関とともに進めている。

- (1) ワンコイン生活サポート事業
- (2) 介護予防ボランティアの組織化及び活動支援
- (3) 認知症高齢者支援事業

(2) 市受託事業

①介護予防事業

○各種教室

開催日	教室名	内 容	延べ参加人数
12/16	音楽療法	音楽を使っての心身共に健康づくり	19
4/16他（計20回）	ミックスみゅーじっく体操	座って健康な身体づくり	371
合 計			390

(3) その他

①シルバーボランティアセンター事業の推進（ボランティア・市民活動センター サテライト事業）

- (1) 当センターの庭園清掃ボランティア活動：6月29日～11月24日 計4回 延べ54名参加
- (2) 紙芝居ボランティアグループ「レインボー」による子育てサロン等での活動：1回実施
- (3) 地域型ボランティアグループ「ダンシング・クローバー」による地域のサロン等での活動：見合わせ
- (4) ボランティアグループ「笑顔の会」によるひとり暮らし高齢者世帯へのふれあい福祉電話訪問
東地区 対象者114名・訪問回数276回・活動日数12日
- (5) ボランティアグループ例会開催状況

グループ名	内 容	回数	延べ参加人数
※「ひびき」	介護予防体操指導後、活動内容のスキルアップや次回の打ち合わせ (3グループとも介護予防ボランティア)	0	0
「なかよし」		2	8
「エンジョイ」		7	25
「あじさいの会」	活動内容の報告と打ち合わせ、情報交換	5	46
「クローバー」		0	0
「ダンシング・クローバー」		6	29
「レインボー」	紙芝居の制作および実演に向けた練習	3	14
計		23	122

※「ひびき」は代表者が不在になったため活動中止

(6) ボランティア（グループ）による教室の開催

- ・「マウスの会」によるパソコン操作の教室：「マウスの会」より事業中止の連絡あり

(7) シルバーボランティアセンターの活動内容

活動内容	行事援助	話し相手	外出介助	朗 読	演芸訪問	介護予防体操	その他	計
件 数	9	0	0	0	1	13	2	25
活動延べ人数	15	0	0	0	5	54	12	86

(8) ボランティア養成の実施

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため事業中止

3. 高井田老人センター

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、老人センターでは令和3年4月25日から6月20日まで休館となったが、指定管理者施設として、地域に密着した老人センターを目指し、高齢者がいきいきと心豊かに過ごすことの一助となる生きがい教室や介護予防事業を、感染症拡大防止対策を徹底し開催した。

特に、コロナ禍で一部休止していた事業に対し、利用者と再開に向けての感染対策の遵守も含めた説明会等を開催しご理解頂きながら、全てのクラブ活動、同好会を再開また次年度再開予定とした。

地域交流、世代間交流の取り組みについては、フレイル予防の講座や高齢者の食育を大阪樟蔭女子大学（くすのき健康栄養センター）と連携し、学生たちが講師とした新たな講座を開催したり、近隣の中学校、認定こども園の演奏、踊りなどをレクリエーションの中でDVDではあるが鑑賞し、利用者から好評を得た。

シルバーボランティアセンター事業や高齢者地域支え合いセンター事業（ランチ）としては、レクリエーション・ボランティア養成講座を開催するなど、高齢者ボランティア活動の推進と拡充を図り、高齢者が主体となって活動できる仕組みづくりを支援してきた結果、プラタブや、端切れなど廃棄される物をリメイクした手作りの小物のボランティアグループが立ち上がり、手作りのキーホルダーやクリスマスリースを近隣の園児にプレゼントするなど交流を図った。

また今年度の利用者数については、レクリエーションや介護予防教室を多く取り入れ結果、延べ人数も前年度より増加し新規の利用者は目標を達成した。当センターを利用した高齢者の延べ人数は 7,275 人で、利用者数の月平均は 606 人、1 日平均は 25 人であった。この 1 年間に新規の利用者証を発行した人数は 167 人で、利用実人数（年度内に 1 回でも利用された方の人数）は男性 226 人、女性 578 人、合計 804 人であった。

・年間利用者数（開館日数：293日） (単位：人)

	男	女	計
年間	3,967	3,308	7,275
一日平均	14	11	25

(1) 指定管理事業

①老人センター運営事業

(1) 情報提供（情報サービス・啓発事業）

市民や利用者にセンター事業や高齢者福祉等に関する情報を提供するために、「市政だより」や「東大阪ふくしだより」、「ホームページ」等を活用するとともに、月間行事予定表「高井田老人センター」を発行した。また、関係機関等へのチラシやポスター等の配布や掲示等により、情報の提供を行った。

(2) 教養講座・教室・レクリエーション事業

手づくり作品教室などを通して、趣味の輪を広げることや各種レクリエーション事業を開催し、高齢者の生きがいを推進する事業を展開した。

①教養講座

開催日	教室	内容	参加人数
4/9	防犯教室	危機管理室、布施警察より悪質商法防止の講座	17
9/15	高齢者の食育	キューピーマヨネーズからオンラインにて食育についての講座	19
9/16	防犯教室	布施警察より振り込み詐欺防止の講座	19
9/17、10/15 11/19、12/17 1/21	スマホ教室 入門編	はじめてスマホを使う方対象で、スマホの使い方の講座	25
12/2	筆ペン講座	「己書」（おのれしょ）の体験	41
12/20	火災予防講座	消防局警防部予防広報課より火災予防の講座	21
1/7	フレイル予防講座	大阪樟蔭女子大学・くすのき健康栄養センターの学生より講話と体力測定	25

②レクリエーション事業

開催日	教室	内 容	参加人数
4/5	まちあるき	シニアまちあるき案内ボランティアによるまちあるき（新型コロナ感染拡大防止のため中止）	0
7/7、10/29 1/6、3/29	映画鑑賞会 (計4回)	「おくりびと」「硫黄島からの手紙」「星になった少年」「鉄道員ぽっぽや」を上映	134
7/26、9/29 10/7	手作り教室	「ハーバリウムボールペン」づくり	38
9/2	手作り教室	「レジンを使ったキーホルダー」づくり	20
11/29	手作り教室	「プルタブを使ったクリスマスリース」づくり	24
12/2	筆ペン講座（ <small>おのれしよ</small> 己書）	筆ペンを使ったオリジナルの文字づくり体験	42
12/20	クリスマス会	東大阪市立布施中学校吹奏楽部によるミニコンサートをDVDにて鑑賞	21
1/19	手作り教室	ミシンを使わないマスクづくり	7

(3) 高齢者生きがい教室（クラブ活動）

高齢者の生涯教育の一環として、人と人のつながりに重点を置いた生きがい教室を実施した。
(発声を伴うクラブ活動は休止中)

①クラブ活動

クラブ名	講師名	会員数 (人)	実施日			実施 回数	出席人数 (延べ)
			週	曜	時 間		
(未生流) 華 道 (ワカ-ルガ-ムト)	祥鶴庵 松島 愛圃	15	第 2	火	13:30-15:00	7	87
	風間 愛子	15	第 4	火	13:30-15:00	6	86
詩 吟	植田 豊鳩	14	第2・4	火	13:00-15:00	6	27
水 墨 画	安田 正	10	第2・4	水	13:00-15:00	11	82
茶 道	奥田 光子	12	第2・4	水	10:00-12:00	12	58
手 芸		13	第2・4	木	13:00-15:00	16	130
新 舞 踊	山村 若温子	13	第1・3	金	13:00-15:00	15	120
民 謡	井上 美由紀	20	第2・4	金	13:00-15:00	0	0
歌 体 操	沖田 加世子	20	第1・3	水	10:00-11:30	0	0
歌 体 操	沖田 加世子	20	第1・3	金	10:00-11:30	0	0
歌 体 操	沖田 加世子	20	第2・4	月	10:00-11:30	0	0
俳 句	下山 芳子	12	第 2	月	13:00-16:00	8	73
絵 手 紙	二階堂 サチ子	19	第2・4	火	10:00-12:00	18	129
謡 曲		15	第2・4	火	12:00-16:00	0	0
カラオケ		20	第1・3	土	13:00-16:00	6	33
水 彩 画	川口 誠次	20	第1・3	火	13:00-15:00	18	139
計		258				123	964

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止したクラブは、実施回数・出席人数を0と示す。

②同好会活動

実施曜日	教室	開催回数	内 容	延べ参加人数
第1・3火曜	おりにふれて（折り紙同好会）	15	折り紙でつくる干支・鶴づくり	126
第 1 水曜	写真同好会	7	写真撮影を通じて交流の輪を広げる	26
第2・4木曜	ポリマークレイ同好会	14	粘土のアクセサリーづくり	79

(4) 地域交流事業・世代間交流事業

地域に根ざした老人センターとして、高齢者が安全かつ安心した生活をいきいきと送ることができるように、地域へ参加を呼びかけ、感染対策を取りながら開催した。

①地域世代間交流事業

開催日	教室	内容	参加人数
8/20	マスクづくりを通して 世代間交流会	地域の小学生と高齢者が一緒に マスクづくりで交流を深める	13 (内3人は小学生)

(5) 各種相談事業

日常生活の心配事や悩み、健康等に関する相談事業を実施

相談別	相談員	相談日	内容	相談件数
健康相談	看護師 引田 妙子 氏	第2水曜日 14:00~15:30	高齢者の健康上の悩みについて 個別助言、指導	10

(6) 健康づくり推進事業

高齢者の健康と体力維持を目的とした事業を展開するにあたり、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、人数制限や密をさける工夫をしながら、各種健康体操教室を開催した。特に、今年度は自宅でもできる体操を取り入れた教室を多く開催した。また利用者が気軽に参加できる「楽しくトライ体操」を介護予防活動ボランティア養成講座修了生の協力により例年同様開催した。

①各種教室

開催日	教室名	内容	延参加人数
4/9	コロナに負けない 体質改善講座	・免疫力を高めるための、「水分」「体温」「腸内環境」の話 ・医療と健康にかけるお金と時間の話 ・体質改善と睡眠の関わり ・腸内環境を整える体操 など	17
4/9、7/9、9/10、 10/8、11/12、 12/10、1/14、3/11	男性の健幸運動教室	インストラクターによる椅子に座ったままできる体操と男性の筋カトレーニングの体験教室	115
4/23、6/25、7/5、 7/30、9/6、10/4、 10/22、11/1、 11/26、12/6、 12/24、1/17、1/28 2/7、2/25、3/7	女性の健幸運動教室	インストラクターによる椅子に座ったままできる体操と女性の筋カトレーニングの体験教室	216
4/9、4/23、7/9、 7/30、9/10、10/8 10/22、11/12、 11/26、12/10、 12/24、1/14、1/28 2/25、3/11	リズムDE体操	音楽に合わせたエアロビクス体操とストレッチ体操	207
7/19	健脳エクササイズ	体と脳の同時トレーニング	21
9/1、11/17	転ばないための がんばる体操	下肢筋力アップを中心とした体操教室	61
12/15	ぽっこりお腹の改善 教室	柔道整復師によるお腹周りを中心にストレッチと呼吸法を取り入れた体操	25
1/20	はじめてのフラダンス	フラダンスを通じて人との交流と健康づくり	14
1/14、2/18、3/11	はじめての卓球教室	卓球を通じて人の交流と健康づくり	12
2/16	若返り健康ツボ講座	鍼灸師によるツボを体験教室	28

②「みんなの体操ひろば」

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため事業中止

③「楽しくトライ体操」

介護予防活動ボランティアリーダー・ボランティアグループ「ハミング」による介護予防体操や脳トレ、レクリエーション等を検討し、講座にて実施した。

実施日	内 容	延べボランティア数	延べ参加数
9/16、10/21、11/18 1/20、3/17	楽しくトライ体操、ストレッチ、脳のトレーニング コグニサイズ、パタカラ体操、あいうべ体操、 その他レクリエーション等	21	79

④ハンパ、囲碁、将棋など、高齢者のニーズにあった趣味を通じて交流を図り、心身の健康増進に努めた。

(7) 老人センター交流事業

- ・三老人センター利用者の交流事業（今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止）

(8) 実習、体験学習の受け入れ

- ・小阪病院看護専門学校生 令和3年7月28日～7月31日、令和4年1月17日～3月10日
までの間 計10名
- ・東大阪市立意岐部中学校2年生 令和4年1月27日午前 1名

(9) 苦情・要望等の件数及びその内容

- ・利用者からの要望等はなく、適切な事業運営を行った。

②高齢者地域支え合いセンター（ランチ）事業

認知症支援など高齢者が地域で安心して暮らし続けることができるように、地域で助け合い、支え合うことができることを目指して三老人センターが協力して事業を実施した。

(1) 介護予防ボランティアの組織化及び活動支援

- ・介護予防ボランティアの活動支援

(2) 市受託事業

①介護予防事業

①各種教室

開催日	教室名	内 容	参加人数
4/8、4/22、7/29、9/9、 9/30、10/14、10/28、 11/11、11/25、12/9、 12/23、1/13、1/27、 2/10、2/24	気功体操	呼吸に合わせてゆったりと動く体操	199
計			199

(3) その他

①シルバーボランティアセンター事業の推進（ボランティア・市民活動センター サテライト事業）

高齢者のボランティア活動の育成推進と拡充を図り、地域活動への参加を推進した。

(1) ボランティアグループ「笑顔の会」によるひとり暮らし高齢者世帯へのふれあい福祉電話訪問

西地区：対象者460名・回数1,488回・活動日数29回

(2) ボランティアグループ定例会開催

ボランティアグループ名	内 容	回数	延べ参加数
介護予防活動ボランティア グループ「サポテン」	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため 事業中止	0	0
介護予防活動ボランティア グループ「ハミング」	定例会：月1回程度（年間8回実施） 講座内容の検討とタイムテーブル作成	5	21

ボランティアグループ名	内 容	回数	延べ参加数
介護予防活動ボランティアグループ「赤いくま」	定例会：月1回程度（R3. 9より活動開始） ブルタブやはぎれなど廃棄される物をリメイクした小物づくり	5	32

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止したボランティアグループは、回数、延べ参加数を0と示す。

(3) ボランティア（グループ）による教室の開催

今年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため活動休止。

(4) シルバーボランティアセンターの活動内容

活動内容	行事援助	話し相手	清掃	朗 読	見守り	介護予防体操	その他	合計
件 数	0	0	0	0	0	5	5	10
活動延べ人数	0	0	0	0	0	21	32	53

(5) シニアまちあるき案内人ボランティア

今年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため活動休止。

(6) レクリエーション・ボランティア講座

開催日	教 室	内 容	参加人数
11/22	レクリエーションボランティア養成講座	レクリエーションボランティアを養成することを目的とした座学と実践の講座	12

4. コミュニティソーシャルワーカー（CSW）配置事業

コミュニティソーシャルワーカー（CSW）配置事業の相談内容は、社会的にも課題となっているセルフネグレクトや複合多問題、コロナ禍による生活困窮や引きこもり、緊急的な支援の必要な事例等が増加傾向であった。このため、分野を超えた専門機関との更なる連携強化に努め、社協地域担当職員（COW）主催の地域福祉ネットワーク推進会議においても、専門機関の顔の見える関係や顔のわかる関係の構築に取り組み多職種による連携支援に取り組んだ。また、CSWとCOWの合同連絡会・研究会では、今年度もスーパーバイザーによる指導や行政の協力を仰ぎ、情報共有やスキルアップを図り、CSW連携会では東・中地域と西地域の2か所での開催と全体での開催を行った。

(1) いきいきネット相談支援センターCSW活動報告書、CSW・COW活動報告書概要版の作成

(2) 相談業務の資料収集と情報提供

(3) 各関係機関との連携

- ①校区福祉委員会連合会
- ②民生委員児童委員協議会連合会
- ③自治協議会
- ④社会貢献支援員
- ⑤基幹型地域包括支援センター、地域包括支援センター
- ⑥基幹相談支援センター、委託相談支援センター
- ⑦市内の小中学校、中学校、地域教育協議会、子育て支援センター
- ⑧福祉事務所、保健センター、生活支援室、環境事業所等の行政機関
- ⑨大阪社会福祉士会（ホームレス巡回相談指導事業）
- ⑩大阪府地域生活定着支援センター
- ⑪東大阪市動物指導センター
- ⑫その他

(4) 広報啓発

- ①広報紙「東大阪ふくしだより」5月1日号・10月1日号に掲載
- ②「東大阪市政だより」福祉なんでも相談掲載
- ③ホームページへの掲載

(5) 東大阪市CSW・COW合同連絡会の開催（計12回）

情報交換とさらなる連携強化を目指して、CSW・COWが毎月合同で連絡会を開催した。引き続き大阪教育大学の新崎特任教授をスーパーバイザーとして招き、助言や指導のもとCSWのスキルアップや行政との連携を図った。本年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、主にリモート形式で開催した。

- ・開催日：毎月第2木曜日
- ・開催場所：東大阪市役所会議室、角田総合老人センター
- ・出席者：新崎特任教授、市福祉部地域福祉課、CSW（13名）、COW（7名）、コーディネーター

(6) CSW連携会の開催（計12回）

連携会が13名のCSWにとってより身近な会議となるように、東・中地域と西地域の2か所での開催と全体での開催に取り組み、個別相談への支援や地域のセーフティネットの構築に向けて、情報交換やピアスーパービジョンを行った。

(7) CSW・COW合同研究会の開催（計12回）

スーパーバイザーの新崎特任教授より、個別支援から地域支援への展開について等の助言や指導を仰ぎCSWのスキルアップに努めた。また、連絡会と同じく新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、リモートによる事例検討会その他、成年後見サポートセンター、大阪府社会福祉協議会社会貢献推進室などより事業説明をいただくなど支援の向上につながる研修を行った。

(8) COWが主催する地域福祉ネットワーク推進会議への協力と参画

(9) 市民プラザでの「福祉なんでも相談」の実施

(10) 担当中学校区の主な動き

- ① 縄手北・枚岡中学校区いきいきネット相談支援センター・・・五条老人センターに設置
 - 延べ相談回数：4, 381回（高齢者36件、障害者12件、子育て中の親3件、児童5件、他20件）
 - 主な相談事例
 - ・高齢者介護保険拒否への支援介入（地域包括と連携）
 - ・外国籍高齢者世帯への支援（民生委員、地域包括、行政と連携）
 - ・家族が入院、残された知的障害者への支援
（民生委員、行政、委託相談支援センター、社貢献、地域包括と連携）
 - ・他市より転入された方への支援（行政・委託相談支援センターと連携）
 - ・引きこもり、生活困窮者世帯への支援（民生委員、行政、委託相談支援センターと連携）
 - 担当中学校区における会議等への出席や訪問活動
 - ・縄手北校区連合会議
 - ・縄手北校区福祉委員会「ふれあいのつどい」
 - ・縄手東校区 縄手東小学校にて「高齢者疑似体験」
 - ・枚岡西校区福祉委員会「サマースクール」「はっぴーサロン」「クリスマスイベント」
 - ・福祉事務所、地域包括支援センター、生活支援室、保健センター
 - ・障害者委託相談支援センター等

○その他

- ・行政、地域包括支援センター等と連携した相談支援援助活動
- ・他校区のCSW配置施設との情報交換・情報提供、相談のつなぎ等
- ・四条市民プラザ、日下市民プラザにて「福祉なんでも相談」

② 縄手・くすは縄手南中学校区いきいきネット相談支援センター・・・五条老人センターに設置

○延べ相談回数：3,493回（高齢者17件、障害者19件、子育て中の親4件、他20件）

○主な相談事例

- ・母子困窮世帯へ生活支援
（市生活支援課、社会貢献支援員、保健センター、子育てサポーター、母子父子自立支援員と連携）
- ・外国籍妊婦と技能実習生世帯への支援（保健センター、社会貢献支援員、市生活支援課と連携）
- ・虐待疑いのある世帯の見守り支援（障害施策推進課、障害福祉係、委託相談支援センターと連携）
- ・8050世帯への支援
（生活支援課、地域包括、介護支援事業所、委託相談支援センター、保健センターと連携）
- ・生活困窮者へ食材支援（社会貢献支援員と連携）

○担当中学校区における会議等への出席や訪問活動

- ・縄手上四条校区福祉委員会「サマースクール」
- ・上四条校区民生委員児童委員会
- ・縄手上四条校区自治連合会、福祉委員会
- ・縄手南校区自治連合会、福祉委員会
- ・地域別会議合同オンライン研修会、東地域別会議
- ・ケアマネ交流会～つなぐ会～
- ・東大阪市母子寡婦福祉会

○その他

- ・コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修
- ・東大阪市施設CSW連絡会
- ・基幹相談支援センター主催研修
- ・東大阪市「ヤングケアラー」支援連絡会議

③ 香津・池島学園中学校区いきいきネット相談支援センター・・・角田総合老人センターに設置

○延べ相談回数：1,929回（高齢者25件、障害者17件、子育て中の親1件、他22件）

○主な相談事例

- ・一人暮らし高齢者への生活保護申請、債務整理、介護保険等関係機関との連絡調整
（行政、地域包括支援センター、弁護士との連携）
- ・入院中の路上生活者への退院後の住まい等生活全般相談
（行政、地域包括支援センター、医療機関との連携）
- ・精神疾患の疑いのある一人暮らし女性への経済的支援を含む関係機関と連絡調整
（行政、社会貢献との連携）
- ・外国人国籍の生活困窮者への就労支援について関係機関と連絡調整
（行政、地域包括支援センター、社会貢献）

○担当中学校区と隣接中学校区における会議等への出席や訪問活動

- ・鴻池東校区福祉委員会「子育てサロン」「小地域ネットワークボランティア全体研修」
敬老大会「グランドゴルフ大会」
- ・池島校区福祉委員会「文化祭」「おやじ喫茶」「個別避難計画」地域向け説明、調整会議
- ・角田自治会「グランドゴルフ大会」
- ・鴻池東 民生委員児童委員定例会
- ・地域福祉ネットワーク推進会議（東地域）（中地域）
- ・中地域別会議
- ・東地域別会議
- ・福祉事務所、保健センター、子育て支援センター、障がい者支援センター等

○その他

- ・中鴻池市民プラザ、日下市民プラザにて「福祉なんでも相談」
- ・地域包括支援センター、行政、障害関係等との連携した相談活動
- ・社会貢献CSW連絡会
- ・令和3年度 ひきこもり支援セミナー等

④ 香津東・英田中学校区いきいきネット相談支援センター・・・角田総合老人センターに設置

○延べ相談回数：2,567回（高齢者17件、障害者15件、子育て中の親3件、児童1件、他24件）

○主な相談事例

- ・外国人の生活困窮者支援（市生活支援課・保健センター・社会貢献支援員との連携）
- ・孤独を感じている一人暮らし高齢者の支援（民生委員・地域包括支援センター・相談支援専門員・保健センターとの連携）
- ・生活困窮により住居を失った方への転居支援（市生活支援課・社会貢献支援員・相談支援専門員との連携）
- ・アルコール依存症の方の相談支援（地域住民・保健センター・病院と連携）

○担当中学校区における会議等への出席や訪問活動

- ・加納、北宮、英田北、英田南民生委員児童委員会
- ・加納校区福祉委員会「役員勉強会」「幹事会」
- ・（障害）中地域別会議 ・地域福祉ネットワーク推進会議
- ・社会貢献支援員CSW連絡会 ・福祉事務所、保健センター、施設、事業所、学校、病院等

○その他

- ・地域福祉コーディネーター基礎研修
- ・中鴻池市民プラザ、日下市民プラザにて「福祉なんでも相談」
- ・地域包括支援センター等との連携した相談活動
- ・他のCSW配置施設との情報交換や情報提供、相談のつなぎ等

⑤楠根・高井田中学校区いきいきネット相談支援センター・・・高井田老人センターに設置

○延べ相談回数：3, 443回（高齢者30件、障害者14件、子育て中の親10件、他23件）

○主な相談事例

- ・生活困窮の方への支援（民生委員、各関係機関、行政と連携）
- ・高齢者の居住支援（各関係機関と連携）
- ・障害者の在宅生活への支援（各専門機関と連携）
- ・ひとり暮らし高齢者の見守り訪問支援（民生委員と連携）
- ・子育て中の親への支援（各関係機関と連携）
- ・就労困難の方への支援（就労支援員、各関係機関と連携）
- ・債務整理における支援（各専門機関と連携）

○担当中学校区における会議等への出席や訪問活動

- ・西地域別会議
- ・西地域ミーティング
- ・西地域福祉ネットワーク推進会議 ・会議への招致活動で楠根小学校校長先生と面談
- ・福祉事務所、保健センター、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、学校、精神科病院等
- ・楠根中学校区防災訓練へ参加

○その他

- ・社会貢献CSW連絡会
- ・楠根市民プラザにて「福祉なんでも相談」
- ・他のCSW配置施設との情報交換や情報提供、相談のつなぎ

⑥新喜多・長栄中学校区いきいきネット相談支援センター・・・高井田老人センターに設置

○延べ相談回数：6, 681回（高齢者35件、障害者34件、子育て中の親8件、児童1件、他16件）

○主な相談事例

- ・親が他界しひとり暮らしとなった知的障害のある方への支援（委託相談、成年後見サポートセンターと連携）
- ・生活困窮の母子世帯への支援（福祉事務所、保健センター、社会貢献支援員と連携）
- ・病気がきっかけで生活困窮となった高齢夫婦への支援（福祉事務所、地域包括、社会貢献支援員と連携）
- ・精神疾患のある独居女性への支援（保健センター、精神科病院と連携）
- ・新型コロナウイルスの影響で減収となった外国籍の方への支援（市役所と連携）
- ・高齢の親と暮らし障害のある子どもの世帯への支援（地域包括、委託相談と連携）

○担当中学校区と隣接中学校区における会議等への出席や訪問活動

- ・地域福祉ネットワーク推進会議（西地域）
- ・西地域別会議
- ・福祉事務所、保健センター、地域包括支援センター、委託相談支援センター、病院等

○その他

- ・布施磯前市民プラザにて「福祉なんでも相談」
- ・社会貢献事業CSW連絡会
- ・令和3年度 引きこもり支援セミナー

5. 地域福祉ネットワーク推進事業（地域担当）

（1）地域支援活動

社協地域担当職員（COW）は三者センターに7名配置され、校区福祉委員会を中心に地域福祉を推進する各種団体が取り組む活動に対する支援を展開した。本年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、当初は地域活動の自粛や延期が続いたが、感染拡大状況を確認しながら感染防止対策を行うことで、少しでもコロナ禍前の状況に戻す努力をする校区も増えており、地域担当職員も様々な情報提供を行うことで、地域の方々と一緒にコロナ禍で行える催しを考え、地域の活性化につながるよう努めた。また、避難行動要支援者の個別避難計画作成事業においては地域の方への事業説明や、会議の調整役として参画・協力した。

- ①布マスク、マスクケースを作成し小中学校・子育てサロン等での配布や高齢者の見守り訪問等の安否確認に活用し、地域のつながりが途切れないよう取り組みをされた。
- ②感染防止対策を行いながら子育てサロンを一部再開し、運動会やクリスマス会など開催した。
- ③介護予防や防災研修などをオンラインで開催した。
- ④大人数で集まらないよう会場を分けるなど工夫し、感染症対策などの研修会を行った。
- ⑤外出自粛が続く中、自治会館や公民分館にお弁当を取りに来てもらい外出する機会を設けた。
- ⑥サロンは感染対策を行いながらボランティアによる演芸を行うなど、コロナ禍前の状況に近づけるよう工夫された。
- ⑦福祉教育を小学校で開催した際、当事者である障害者の方にゲストティーチャーになっていただいたことで、子どもたちだけでなくスタッフである福祉委員や民生委員の方への障害者理解にもつながった。
- ⑧災害時要支援者の個別避難計画作成事業に東地区3校区が取り組んだ。（令和3年度は東地区が対象）

（2）専門機関との連携強化

①地域福祉ネットワーク推進会議の開催

この会議は、各種事業者・関係機関等が高齢・児童・障害などの分野を超えてつどい、“制度の狭間にある人” “複合的な課題を抱えた人” などの地域課題の発見や解決への取り組み、地域福祉推進のための連携や役割分担について話し合うことで、誰もが安心して暮らしていくことのできる福祉のまちづくりを目指して開催している。本年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策のため、すべてオンライン（ハイブリッド形式も含む）で開催した。オンライン上でもグループワークやアンケートを実施するなど、参加者の声を聞き取るように工夫した。

地域	開催日	内 容
東	8/27	「社会福祉法人の強みを活かした取り組み（大阪しあわせネットワーク）」について ～生活困窮者に対する支援について～ （オンラインにて開催 参加者 51名）
	2/25	「これって本人の意思？」～意思決定支援の観点から考える～ （オンラインにて開催 参加者 63名）
中	9/17	「虐待の理解を深める～東大阪市の虐待の現状～」 （オンラインにて開催 参加者 53名）
	2/14	「地域福祉ネットワーク推進会議の意義について一緒に考えませんか ～包括的な支援体制とは～」 （オンラインにて開催 参加者 42名）
西	8/2	「外国人の感じる3つの壁を越えていこう」（オンラインにて開催 参加者 43名）
	2/18	「ヤングケアラーの話～分野を隔てずにみんなで支援を考えませんか～」 （オンラインにて開催 参加者 28名）

（3）小地域ネットワーク活動の展開（実施校区福祉委員会：全45校区）

①活動内容

- 個別援助活動：見守り・声かけ訪問
- グループ活動：いきいきサロン、世代間交流、子育て支援活動、ミニデイ、研修会 等

②小地域ネットワーク活動の充実

○介護予防事業は、小地域ネットワーク活動における介護予防の取り組みを推進し、介護保険の被保険者が要介護状態となることを予防し、地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援することを目的として、校区福祉委員会が69回実施した。

○災害時の取り組みについては、被災直後の地域住民同士の助け合いから、本格的な復興に向けての取り組みまで、その基盤となる平時から地域でのつながりが最も大切であることは明らかである。日ごろから地域福祉活動の中心として活動実践している校区福祉委員会が社会福祉協議会と連携して、日ごろの活動を活かし、地域住民とともにその地域を守るために、要援護者の支援活動を中心とした包括的な防災訓練に取り組んだ。

③小地域ネットワーク活動「介護予防事業」・「メニュー事業」実施状況

小地域ネットワーク活動「介護予防事業」	実施校区数	実施回数
①運動実技指導	9	19
②口腔衛生指導	0	0
③栄養指導	4	4
④健康講座	16	37
⑤認知症サポーター養成講座	2	4
⑥ボランティアスクール	0	0
⑦広報啓発活動	5	5
小地域ネットワーク活動「メニュー事業」	実施校区数	実施回数
①災害時要援護者等防災訓練	2	2
②タウンミーティング（地域懇談会）	0	0

6. 権利擁護事業

※地域包括支援センターの権利擁護業務は別掲

(1) 日常生活自立支援事業

日常生活自立支援事業は、認知症や知的障害、精神障害等で自己の判断のみでは意思決定に支障があるために、福祉サービスの利用契約を結ぶ事が困難な方が、安心して適切なサービスを利用できるように、日常的な金銭管理、書類預かりなどの支援を行うことによって、住み慣れた地域で自立した生活を送れることを目的としている。

申し込みにおいては、今年度長年の課題であった待機解消を果たすことが出来た。新規利用契約は62件締結した一方、死亡や他市への転居、成年後見制度へ移行したことによる終了ケースが48件あり、年度末の利用件数は366件となった。終了ケースについては、関係機関と連絡を密に取り、保管物品を引き継ぐことができた。成年後見制度への移行については、利用者と丁寧にに関わり、関係機関・市と連携を図ることにより、21ケース結びつけることができた。

また、福祉事務所・障害者相談支援事業所等の関係機関・居宅介護支援事業所・地域包括支援センター・病院等の関係機関から、サービスを希望する相談受付が99件あった。

利用希望の相談は、ほとんどが関係機関からであり、ご本人が自身にとって適切な制度を選択することができるよう、関係機関職員との連携をとったうえで、成年後見サポートセンター職員と同行訪問し、制度の説明を行った。また相談内容については、本事業では対応できない相談もあり、成年後見制度等の説明を行った。

○日常生活自立支援事業比較概要表

(単位：件数)

対象者の分類		年 度	R2年度 (参考)	R3年度
1. 利用件数（年度末現在）			352	366
区 分	認知症高齢者等		94	87
	知的障害者等		87	93
	精神障害者等		171	186
2. 新規利用契約件数			71	62
3. 契約終了件数			36	48
4. 利用申込受付件数（初回相談援助件数）			83	99

対象者の分類		年 度	R2年度 (参考)	R3年度
5. 相談援助件数（4の初回相談援助件数を除く）			3,146	4,851
区 分	認知症高齢者等		893	1,084
	知的障害者等		682	1,195
	精神障害者等		1,569	2,562
	不明・その他		2	10
6. サービス派遣件数			5,842	6,664
区 分	認知症高齢者等		1,335	1,187
	知的障害者等		1,473	1,716
	精神障害者等		3,034	3,761

(2) 東大阪市生活保護受給者福祉サービス利用援助及び金銭管理等支援事業

この事業は、認知症や知的障害、精神障害等で判断能力が不十分な生活保護受給者の安定した社会生活、日常生活の維持と自立助長を目的としている。

今年度も市担当部局との調整を重ね、生活指導や指示を行う生活保護ケースワーカーと連携を図り、判断能力が不十分な利用者に対して、福祉サービスや金銭管理支援等の定期的な訪問により生活の変化を察知し、利用者の安定した生活が維持できるよう支援を行った。

(3) 市民後見推進事業

市民後見推進事業は、誰もが住み慣れたところで自分らしく安心して暮らせる地域づくりをめざすため、認知症、知的障害、精神障害等により判断能力が不十分な人が成年後見制度を適切に利用できる仕組みづくりを進めるとともに、地域福祉の観点から、市民が後見業務の新たな担い手として適切に活動できるよう支援し、成年後見制度の利用の促進を図ることを目的に実施している。

市民後見人の養成では、大阪府社会福祉協議会が開催する市民後見人養成講座の広報活動や基礎講習（4日間）、実務講習（7日間）に参加し、参加者の把握や面接への参加など、事務局として補助的な業務を行った。養成講座の期間は、8月～3月までの約8ヵ月間であり、今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため施設実習は中止した。

市民後見人バンク登録者研修では、後見活動に関する情報や知識の習得、グループワークでの事例検討会などの研修会（年4回）に事務局として補助的な業務を行った。

今年度は、専門職後見人、日常生活自立支援事業から引き継がれたケースが増え、被後見人の死亡による終了のケースもあり、併せて6名の市民後見人が後見活動を展開している。

①市民後見人養成講座の参加人数

オリエンテーション	基礎講習	実務講習	修了者	登録予定者
Youtubeで動画視聴のため人数は不明	7名	6名	6名	6名

②市民後見人バンク登録者・受任状況

年度	～R2 (養成講座受講年度)	R3 (養成講座受講年度)	計
バンク登録者数	45名	6名	51名
市民後見人の受任数	8件	2件	10件

※現登録者30名
※うち4件終了

③専門相談（弁護士・司法書士・社会福祉士のいずれかの専門職と市民後見人で実施）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	6	0	2	3	1	2	3	0	1	2	2	3	25

④地域別バンク登録者研修の開催

日時	内容	講師	参加人数
3/7 14:00-16:00	講演「認知症の人とのかかわり方」、講師に対する質疑応答、市民後見人の活動報告、後見人への質疑応答	居宅介護支援事業所 ケアプラン新 〈あらた〉主任介護支援専門員 行松 孝祐 氏 市民後見人 立木 弘道 氏 市職員・社協職員	11名

(4) 成年後見制度利用促進事業（成年後見サポートセンター）

成年後見制度の利用促進のため、東大阪市との協働で、専門職や関係機関による「東大阪市成年後見制度利用促進協議会」を設置・運営した。

成年後見サポートセンターでは、制度や相談窓口に関する情報を、ウェブサイト、広報紙、ケーブルテレビ等、様々な媒体を通じて発信を行った。また、地域支援者や福祉専門職、行政職員等に向けた研修会の開催や、モデル事業（専門職派遣）を実施することで、本人に身近な親族、福祉・医療・地域の関係者や後見人による「チーム」を支援するための体制の整備に取り組んだ。

①会議等の開催（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

会議名	実施回数
東大阪市成年後見制度利用促進協議会	3回/年
// 広報啓発部会	2回/年
// 相談部会	2回/年
// 利用促進	2回/年

②成年後見サポートセンター活動（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

相談・問合せ件数	470件	一般 401件 権利擁護支援相談窓口 69件
関係機関との連絡調整等	133件	福祉専門機関、行政機関、公益団体、等

③研修会

開催日	講座名・講師名	開催形式	受講者数
2/17	テーマ「成年後見制度と日常生活自立支援事業との関係性を学ぶ」 講師 田村ソーシャルネット 取締役 田村 満子 氏	集合研修 及びオンライン 研修	集合30名 Web83名
3/23	テーマ「意思決定支援を踏まえた後見事務の後見事務のガイドライン」から学ぶ意思決定支援のあり方研修会 講師 尾張東部権利擁護支援センターあすライツセンター長 住田 敦子 氏	集合研修 及びオンライン 研修	集合19名 Web27名

④研修会等への職員派遣

開催日	講座名・講師名	開催形式	派遣内容
10/15	研修名「成年後見制度のホントとホンネ」	オンライン研修	講師
10/26	テーマ「CD地域委託先ケアマネ研修会」	オンライン研修	講師
11/25	テーマ「CSW・COW研修会」	オンライン研修	講師

7. 基幹型地域包括支援センター（角田・荒川）

地域包括支援センターは、一人ひとりの高齢者が尊厳を保ちながら、住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう支援することを目的に設置されている。市内22カ所のうち当協議会は2カ所を運営し、基幹型地域包括支援センターとして、高齢者支援に関わる諸活動を総合的に調整・推進することを目的に設置された東大阪市高齢者地域ケア会議の事務局の役割を担っている。

今後益々、ひとり暮らしや高齢者夫婦のみ世帯、介護を必要とする高齢者の増加が予測され、高齢化が進む中では地域において、「医療」「介護」「生活支援」「介護予防」「住まい」が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現することが重要となる。

地域包括ケアシステムの中核機関として、第1層の生活支援コーディネーターの役割を担い、担当地域の第2層の生活支援コーディネーターと連携し、地域福祉活動実践者や医療・介護・福祉などの専門機関とネットワークの構築に取り組んだ。今年度から地域で取り組む高齢者の健康づくりとして「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」をモデル事業に取り組んだ。内容として、東大阪市の健康部健康づくり課・福祉部地域包括ケア推進課・市民生活部保険管理課と協働して、地域の健康課題を分析し、保健師による個別訪問に同行し、通いの場でのフレイル予防や健康相談を実施した。さらに、コロナ禍での高齢者の相談・支援体制を継続し、市民サービスに比べるとともに、各地域包括支援センターとの総合調整や後方支援等の役割などの機能強化を図った。

(1) 相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (見込)
角田	372	311	358	308	355	346	390	390	342	311	311	394	4,188
荒川	450	490	557	513	601	514	609	663	501	528	525	569	6,520

相談内容内訳

項目	相談件数	相談者				相談内容 (重複相談含む)							
		本人	家族	ケア	他	介護 保険	介護	福祉 サービス	保健 医療	家族 関係	介護 予防	基本 チェック	他
角田	4,188	386	595	461	2,746	2,961	2,131	434	657	1,452	42	26	180
荒川	6,520	693	887	825	4,115	3,941	2,054	1,527	904	1,753	62	17	1,192
合計 (見込)	10,708	1,079	1,482	1,286	6,861	6,902	4,185	1,961	1,561	3,205	104	43	1,372

(2) 介護予防支援 (給付管理数) (見込)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
角田	208	210	206	202	207	207	223	216	212	226	211	215	2,543
自プラ	33	32	35	36	41	42	45	45	42	43	39	39	472
他プラ	175	178	171	166	166	165	178	171	170	183	172	176	2,071
荒川	419	419	413	412	413	413	417	416	414	405	406	413	4,960
自プラ	98	100	99	105	110	107	108	110	111	104	104	103	1,259
他プラ	321	319	314	307	303	306	309	306	303	301	302	310	3,701

(3) 地域介護予防推進事業

<角田>

開催日	回数	場所	テーマ	講師	参加数
第1 (水)	6	岩田自治会館	楽しくトライ体操	地域包括支援センター角田 楽しくトライ体操推進員	72
第1 (木)	18	稲葉第2自治会館	いなば第2 ひまわり体操教室	地域包括支援センター角田	135
第2 (金)	9	岩田自治会館	おやじかふえトライ	地域包括支援センター角田 喜馬病院 理学療法士	216
第1 (水)	5	岩田自治会館	家族介護教室	地域包括支援センター角田	17
7/25		岩田西部自治会館	介護予防体操	地域包括支援センター角田	13

開催日	回数	場 所	テーマ	講 師	参加数
10/24		稲葉第1自治会館	高齢者同士の交流	地域包括支援センター角田	68
11/12		稲葉第1自治会館	交流の場について	地域包括支援センター角田	12
12/12		稲葉第1自治会館	音楽鑑賞等	地域包括支援センター角田	40
1/20		河内薬剤師会事務所	リモート介護予防教室	地域包括支援センター角田	7
1/21		稲葉第1自治会館	交流の場について	地域包括支援センター角田	9
1/25		岩田西部自治会館	介護予防体操	地域包括支援センター角田	5
2/3		河内薬剤師会事務所	リモート介護予防教室	地域包括支援センター角田	2

<荒川>

開催日	回数	場 所	テーマ	講 師	参加数
第1・3 (火)	29	近江堂リージョン センター	介護予防体操と脳トレ	地域包括支援センター荒川	250
第2 (水)	0	わかば温泉	介護予防体操と歌教室 ※新型コロナウイルス感染症 感染拡大防止のため開催 中止	地域包括支援センター荒川	0
第1 (木)	18	長瀬北公民分館	介護予防体操と脳トレ	地域包括支援センター荒川	198
5/25	1	長瀬東公民分館	介護保険のお話+脳トレ	地域包括支援センター荒川	14
6/22	1	長瀬東公民分館	保健師による口腔衛生に ついてのお話	地域包括支援センター荒川	15
8/24	1	長瀬北公民分館	家族介護教室	地域包括支援センター荒川 三笑堂 中尾周平氏	6
11/30	1	長瀬北公民分館	家族介護教室	地域包括支援センター荒川 三笑堂 中尾周平氏	1
2/15	1	長瀬東公民分館	特殊詐欺被害防止に ついての啓発	地域包括支援センター荒川 東大阪市消費者団体協議会	24
3/11	1	長瀬北公民分館	家族介護教室	地域包括支援センター荒川 三笑堂 中尾周平氏	3

(4) 認知症カフェ

<角田>

開催日	回数	場 所	実施内容	人数
第2(金)	6	岩田自治会館	認知症の方やその家族の方と、地域住民の方との交流及び 専門職によるコグニ体操	66

<荒川>

開催日	回数	場 所	実施内容	人数
第2(木)	0	特別養護老人ホーム かわち野里ながせ 1階地域交流室	認知症になっても住み慣れた場所で暮らし続けるために、 地域の方々や医療・介護の専門職とつながり顔なじみになり、 情報交換ができ気軽に立ち寄り、おしゃべり、相談ができる 場所を目的とする。※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催中止	0

(5) 地域包括支援センター連絡調整会議 12回（毎月第3木曜に開催）

(6) 地域包括支援センター担当職員研修会

開催日	場 所	テーマ	講 師	参加者数
5/14	オンライン (ZOOM)	「チームオレンジについて」 「ボランティアと協働するために 知っておきたいこと」	地域包括ケア推進課 京都光華女子大学 准教授 南多 恵子 氏	56
6/14	おでまつ 開催	熱中症対策アドバイザー養成講座 「熱中症0(ゼロ)を目指して」 「イベントにおける熱中症対策」	大塚製薬株式会社 熱中症予防声かけプロジェクト	36
1/12	ハイブリッド 形式	「支援が難しいケースへの 対応について」 ～事例を通じて、みんなで考えよう～	国立保健医科学院 生涯健康研究部 上席主任研究官 吉岡 京子 氏	40
3/23	オンライン (ZOOM)	「意思決定支援を踏まえた後見事務の ガイドライン」から学ぶ ① 中核機関の役割について ② 意思決定支援のあり方について	① 東大阪市福祉部地域福祉課 ② 特定非営利法人 ③ 尾張東部権利擁護支援センター あすライツ センター長 住田 敦子 氏	17

(7) 東大阪市高齢者地域ケア会議

会 議 名	回数	内 容	事務局
機関等代表者会議 (委員35名) 【第1層協議体】	1	機関等の代表者が地域ケア会議の活動状況を把握し、 機関間の調整を図るなど、高齢者支援に関わる諸活動を 総合的に調整、推進する。(新型コロナウイルス感染症 感染拡大防止のため書面開催)	基幹型
企画運営会議 (委員15名)	11	地域ケア会議全体の運営を協議調整し、推進するととも に、個別支援策検討会議及び高齢者生活支援等会議 の活動の中で見出される共通の課題等を整理検討し、 解決のために必要な活動を行う。	基幹型
高齢者生活支援等会議 【第2層協議体】	55	「定期的な情報共有・連携強化の場」として地域の高 齢者の生活支援等にかかる課題や情報を共有し、情報 の見える化の促進、相互の連携の強化、支援の質の向 上や社会資源の開発及び活動の推進等に必要な働き かけを行う。 ※中学校区（日常生活圏域）を担当している地域包括 支援センターがそれぞれの中学校区・小学校区毎で会 議を開催している。 ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため残 り5回は中止	担当地域 包括支援 センター
個別支援策検討会議 (虐待疑い事例に関与する 会議567回を含む)	691	高齢者虐待疑いや支援困難な事例に対し、ひとつの機 関等では支援が難しい高齢者等について、関係機関等 と東大阪市が具体的な支援の方策を検討する。基幹型 地域包括支援センターは、担当地域包括支援センター が開催する会議に出席し連携、協力して問題解決の支 援を行う。	担当地域 包括支援 センター

会議名	回数	内容	事務局
高齢者虐待防止専門会議	9	高齢者虐待が疑われる事例について、その支援の進行状況を管理、点検、検証することで、支援の継続を確実にする。また、共通の課題等については地域ケア会議の活動に反映している。	基幹型
自立支援型地域ケア個別会議	1	多職種の専門的な視点に基づく助言を通して、介護予防・自立に資するケアマネジメントの実践力を高め、高齢者のQOLの向上をめざす。	地域包括ケア推進課・給付管理課

(8) 高齢者生活支援等会議

<角田>

	開催日	開催場所	内容
第1回	9/30	岩田公民分館	1) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に事業について 2) フレイル予防のチラシについて
第2回	R4. 3/30	岩田自治会館	1) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に事業についての報告 2) 来年度の会議内容や予定について（資源マップなど）

<荒川>

	開催日	開催場所	内容
第1回	7/9	近江堂リージョンセンター文化ホール	【金岡中学校区】 昨年度のふりかえり 新型コロナウイルスワクチン接種の現状、地域の状況について
	6/28	近江堂リージョンセンター文化ホール	金岡中学校区いきいきマップについて 【弥刀中学校区】 昨年度のふりかえり 新型コロナウイルスワクチン接種による地域の状況 シルバーふれあいマップについて
第2回	10/22	近江堂リージョンセンター文化ホール	【金岡中学校区】 前回のふりかえり 長瀬東校区、長瀬北校区、包括の介護予防教室の活動を発表 金岡中学校区いきいきマップの配布について
	10/25	近江堂リージョンセンター文化ホール	【弥刀中学校区】 前回のふりかえり シルバーふれあいマップについて意見交換 シルバーふれあいマップに掲載している教室等の活動報告
第3回	R4. 1/28	近江堂リージョンセンター文化ホール	【金岡中学校区】 前回のふりかえり 金岡中学校区いきいきマップを配布後の地域の状況について 金岡中学校区の高齢化について 令和4年度の会議の方向性について
	R4. 1/31	近江堂リージョンセンター文化ホール	【弥刀中学校区】 前回のふりかえり シルバーふれあいマップ配布後の状況 令和4年度の取り組みについて

(9) 多職種連携研修会

<角田>

開催日	参加人数	開催場所	内容
8/30	15	河内医師会会議室及びオンライン (ZOOM)	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での高齢者の変化について ・事前アンケートを踏まえた検討 ・きらっと玉川通信について
12/24	15	河内医師会会議室及びオンライン (ZOOM)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの入り口支援と出口支援について ・きらっと玉川ちょこっとエクササイズ通信について

<荒川>

開催日	参加人数	開催場所	内容
4/12	11	オンライン (チームズ)	昨年度の振り返り・今年度の取り組みについて
6/14	11	オンライン (チームズ)	緊急事態宣言中の事業所、施設の感染症への対応、災害への対応のアンケート内容について
8/30	12	オンライン (チームズ)	新型コロナウイルス感染拡大における医療、福祉の専門職の現状について
10/11	12	オンライン (チームズ)	アンケート結果より第1回多職種連携全体研修会の内容について
12/27	13	オンライン (チームズ)	新型コロナウイルスの医療の現状、介護事業所の現状について
R4. 2/14	43	オンライン (チームズ)	第1回多職種連携全体研修会「感染症・災害への多職種連携について」～専門職のつながりや地域のつながりについて考えてみよう～ アンケートの結果を報告、医療、福祉の専門職への質問コーナーを行う

(10) 個別支援策検討会議

個別支援策検討会議	角 田	荒 川	基幹型以外	合 計
() 内は虐待事例	363 (319)	326 (246)	2 (2)	691 (567)

(11) 生活支援コーディネーター連絡会

	開催日	参加人数	開催場所	内 容
第1回	6/16	36	角田総合老人センター 2階研修室	社会資源マップについての発表 単位地域ケア会議についての発表 通いの場について 1) 実態調査・地縁団体の活動 2) グループワーク・発表
第2回	8/26	35	オンライン開催 (Zoom 使用)	社会資源マップについての発表 単位地域ケア会議についての発表 通いの場について 1) グループワーク・発表
第3回	12/20	33	角田総合老人センター 2階研修室	単位地域ケア会議についての発表 社会資源マップについての意見交換 意見交換会 1) グループワーク・発表

	開催日	参加人数	開催場所	内 容
第4回	令和4年3/18	32	講師：オンライン (Zoom使用) 角田総合老人 センター 2階研修室	住民主体の地域づくりを後押しする「物語」 講師 東京都立大学 人文社会学部人間社会学科 准教授 室田 信一 氏

(12) 全体研修会

今年度も新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のため開催中止

(13) 東大阪市認知症本人活動支援推進ワーキンググループ会議 (委員10名)

開催日	回数	内 容	事務局
第2 (火)	11	認知症の人が、認知症になってもその人のもつ能力や意志が尊重され、住み慣れた地域社会で、可能な限りその人らしく暮らし続けることができるための場の創出や、今ある支援の場につながるためのしくみの構築にあたり、市の課題を抽出、検討し、関係機関と協働の上課題解決に取り組む。 認知症本人交流会「楽 Café」実施・楽 Café 弁当販売企画・認知症本人が活動できる場の検討等	基幹型

(14) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

<角田>

取り組み内容		内 容	対象者
通いの場でのフレイル講座	11カ所	・フレイルチェック ・栄養講座	1回目：152名 2回目：144名
保健師との同行訪問	2件	・ひとり暮らしで認知症の疑い ・ゴミ屋敷の疑い	1名 1名

(15) 学生を対象とした活動

開催日	対 象	講 義	内 容
10月	大阪市立大学医学部 (看護学科4回生)	在宅看護学分野実習	同行訪問等(1名につき4日間) 計10名受入

(16) 東大阪市在宅高齢者介護者リフレッシュ事業

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催中止

IV. 玉串こども園

幼保連携型認定こども園として

1. 保育理念「子ども一人一人を大切に、健全な発育および地域福祉の推進を図りながら、教育、保育を積極的に増進する」に基づき、「はだし保育」「愛着関係のめばえの大切さ」「自己肯定感の育成」について園内研修会などで職員間の共通理解を深め、教育、保育方針として、四季折々の季節を感じる保育の経緯や「体育」「音楽」「絵画造形」「言語」「食育」などのカリキュラムを通して、豊かな心を育み、「心情・意欲・態度」が育つ保育活動の展開を実践してきた。
2. 一時預かり事業の推進を図る中で職員体制などから乳児クラスの預かりが難しく、問い合わせに対応できないときもあり、一時預かり事業の利用者が少なくなったが、保護者の就労支援やリフレッシュなど、様々な保育ニーズに応えていくことができた。
3. 地域子育て支援事業では、在宅で子育てをしている保護者が参加しやすいプログラムや憩いの場として喜ばれ、子どもにとってもお友達作りやコミュニケーションの場として事業展開してきた。また、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大により、園庭開放については中止とした。登録型「ドレミファランド」や、公民分館に出向く「お出かけ保育」として、「スクスクランド」（月2回）及び「びよびよランド」（月1回）等のあそびの広場や、市の方より引き継ぎ、生後3カ月～1歳の誕生日までのお子様を対象とする「赤ちゃん広場」（月1回）も状況に応じて実施し、校区福祉委員会との連携により子育て支援の幅を広げることができたが、後半は新型コロナウイルスまん延防止などにより中止となった日もある。
また、大阪府認定の「スマイルサポーター（保育園における地域貢献支援員）」の資格を有する職員（6名）が育児相談の担い手となっている。
4. 世代間交流事業は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、行うことができなかったが、地域の方のご協力により、お芋掘り、田植えや稲刈りなどを通じて園児が地域の方とふれあうことができた。

（年間行事報告）

月	日	行事内容	月	日	行事内容
4	1	・令和3年度保育開始	5	7	・野菜苗植え
	2	・第2回入園式		10	・防犯訓練
	5～10	・慣らし保育期間		10、31	・ドレミファランド
	7、21	・体育あそび		11	・内科検診 ・うたあそび
	8	・手話指導		13	・手話指導
	9～16	・クラス懇談会		14	・さつま芋の苗植え（5歳児）
	13	・うたあそび		14、17	・身体計測
	14	・絵画指導		18	・誕生会 ・避難訓練
	19、20	・身体計測		19	・体育あそび
	19、26	・ドレミファランド		24	・歯科検診
	20	・防犯教室、防犯訓練		26	・絵画指導 ・もぐもぐパワー
	21	・スクスクランド			
	22	・誕生会 ・もぐもぐパワー			
	26	・交通安全指導			
	28	・避難訓練			
30	・子どもの日の集い				

月	日	行 事 内 容	月	日	行 事 内 容
6	1	・田植え（5歳児）	7	2	・おたのしみ保育（5歳児）
	2、16、30	・体育あそび		5、12	・ドレミファランド
	3	・じゃがいも堀り		6	・七夕の集い
	4	・のびのびキッズクラブ（3歳児）		7	・スクスクランド
	14	・防犯訓練		7、21	・体育あそび
	15	・運動会予行練習		8	・手話指導
	17	・手話指導 ・もぐもぐパワー		9、16	・のびのびキッズクラブ（3歳児）
	17、18	・身体計測		10、31	・ドレミファランド
	21、28	・ドレミファランド		13	・うたあそび
	22	・誕生会		14	・絵画指導 ・ぴよぴよランド
	23	・赤ちゃん広場		15、16	・身体計測
	26	・運動会		17	・玉串フェスタ
	28	・水開き		20	・避難訓練 ・誕生会
	29	・うたあそび ・避難訓練		27	・もぐもぐパワー ・防犯訓練
30	・絵画指導	28	・赤ちゃん広場		
8	4	・スクスクランド	9	7	・個人懇談会（全園児）
	3、18	・体育あそび		7、8	・うたあそび
	10	・避難訓練		8、22	・身体計測
	16	・防犯訓練		9	・絵画指導
	18、19	・身体計測		10	・誕生会
	20	・誕生会		10、24	・避難訓練
	25	・絵画指導		13	・のびのびキッズクラブ（3歳児）
	26	・手話指導		13、27	・手話指導
10	1	・創立記念日 ・お祭りごっこ	11	1、8	・ドレミファランド
	6、20	・体育あそび ・スクスクランド		5、12、19	・のびのびキッズクラブ（2歳児）
	7	・さつまいも堀り		8	・避難訓練（消防署来園）
	8	・防犯訓練 ・稲刈り（5歳児）		9	・うたあそび ・内科検診
	11、18、25	・ドレミファランド		9、17	・体育あそび
	12	・うたあそび		10	・防犯訓練 ・ぴよぴよランド
	13	・ぴよぴよランド		11	・手話指導
	13、27	・絵画指導		11、12	・身体計測
	14	・手話指導		16	・誕生会
	15	・園外保育（5歳児）		17	・もぐもぐパワー ・スクスクランド
	18、19	・身体計測		18、30	・生活発表会予行
	19	・誕生会		19	・わんぱくフェスティバル（5歳児）
	20	・もぐもぐパワー		24	・絵画指導 ・赤ちゃん広場
	27	・収穫パーティー ・避難訓練			
29	・赤ちゃん広場				
		・ハロウィンパーティー			

月	日	行事内容	月	日	行事内容
12	1、15	・スクスクランド	1	5、19	・体育あそび
	4	・生活発表会		7	・新年子ども会、どんど焼き
	6	・乾布摩擦、マラソン開始		11	・うたあそび ・防犯訓練
	8	・絵画指導 ・ぴよぴよランド		12	・ぴよぴよランド
	9	・手話指導		12、26	・絵画指導
	10、17	・のびのびキッズクラブ（2歳児）		13	・手話指導
	13	・うたあそび		14、21	・のびのびキッズクラブ（2歳児）
	13、20	・ドレミファランド		17	・ドレミファランド
	14	・防犯訓練		19	・もぐもぐパワー ・スクスクランド
	15	・もぐもぐパワー		20	・避難訓練
	15、22	・体育あそび		21、24	・身体計測
	16	・おもちゃつき会		25	・誕生会
	20	・避難訓練		26	・赤ちゃん広場
	21	・クリスマス会			
22	・赤ちゃん広場				
23、24	・身体計測				
2	1	・節分あそび	3	1	・ひなまつり会
	2	・もぐもぐパワー		1～9	・クラス懇談会（0～5歳児）
	2、16	・体育あそび		2	・卒園進級写真撮影
	16	・絵画指導		2、16	・体育あそび
	17～19	・作品展		4	・のびのびキッズクラブ（2歳児）
	18	・のびのびキッズクラブ（2歳児）		7	・お別れ会（5歳児とのお別れ）
	21	・避難訓練			・防犯訓練
	21、22	・身体計測		7、14	・ドレミファランド
	22	・防犯訓練		8	・うたあそび
	24	・誕生会 ・うたあそび		9	・絵画指導
				10	・手話指導
				11、14	・身体計測
				15	・誕生会
		16	・もぐもぐパワー ・スクスクランド		
		17	・避難訓練		
		19	・第2回卒園式		
		23	・赤ちゃん広場		
		31	・令和3年度保育終了		